

SYLLABUS 2026

中 学 受 験 部

小4

CONTENTS

- 1 年間スケジュール
- 3 国語の学習
- 4 算数の学習
- 5 社会の学習
- 6 理科の学習
- 7 カリキュラムテスト実施要項
- 9 前期カリキュラム
- 18 後期カリキュラム
- 27 授業カレンダー

年間スケジュール

	授業	テスト	講座・イベントなど		
2026年 2月	前期		新学年開講		
3月		組分け テスト	トップレベル 模試①	保護者会 中学入試 報告会	
4月			カリキュラムテスト 〔テスト＋解説授業（2月～7月・全8回・隔週で実施）〕	算数トップレベル講座（前期） 保護者会	
5月		組分け テスト			
6月		組分け テスト			全国統一 小学生テスト
7月	組分け テスト				
8月	夏期講習会 夏期合宿	組分け テスト	トップレベル 模試②		
9月	後期		カリキュラムテスト 〔テスト＋解説授業（9月～1月・全7回・隔週で実施）〕	保護者会	
10月		組分け テスト			秋フェス （有名中学校講演会） 保護者会
11月		組分け テスト		全国統一 小学生テスト	
12月		冬期講習会		組分け テスト	トップレベル 模試③
2027年 1月		組分け テスト	志望校 判定テスト		

※変更が生じる場合がございます。

模試・テスト

● カリキュラムテスト（詳細はP.7へ）

『予習シリーズ』で学習した内容について隔週土曜に「テスト」を行い、その後の「解説授業」により定着を図ります。

授業→宿題・家庭学習→テスト→解説授業→解き直し・復習のサイクルで学力を高めます。

● トップレベル模試（年3回）

御三家中やそれに準ずる学校を志望する小4生が塾を問わず集い、最難関校入試を突破するのに必要な「思考力」「論理力」を試す問題に挑戦します。所定の成績を収めた受験生には「算数トップレベル講座」への受講資格が与えられます。

● 全国統一小学生テスト（6月・11月）

四谷大塚主催の日本最大級の無料公開学力測定テストです。単元の得意・不得意や、これからの学習の留意点を大きな母集団のなかで把握するためのテストです。都道府県別順位・男女別の順位・正答率など詳細なデータが確認できます。

● 組分けテスト（詳細はP.8へ）

四谷大塚が実施する、学習内容の定着を図るためのテストです。このテストの結果を参考に、通常授業のクラス分けを行います。

● 志望校判定テスト（1月）

四谷大塚主催の、小学4年生・小学5年生に向けた合格判定テストです。受験学年へ向け、早い時期から志望校を意識することで、学習に対するモチベーションをアップさせ、学力伸長の原動力となります。

選択講座

● 算数トップレベル講座

中学受験の最高峰をめざし、最高品質と最大成果を提供しつづけている「SPICA」。その授業を、早稲田アカデミーの日曜特別講座として、小4生へ提供いたします。

本講座の受講には、資格が必要となります。

講習会・夏期合宿

● 講習会（春期・夏期・冬期）

春期は旧学年の復習と新学年の先取りを行い、自信を持って新学期を迎える準備をします。夏期は主に1学期の復習と2学期の先取り学習を行い、2学期からの学習に余裕を持って臨めるようにします。冬期は2学期の内容の定着を図るとともに、新学年に向けて土台を固めます。

● 夏期合宿

3泊4日の勉強合宿です。勉強以外に、屋外の自然環境でのイベントも用意しています。講師の熱意、周りの友達の頑張り、そして勉強に集中できる環境がお子様のやる気に火をつけます。

保護者会・イベント

● 保護者会・個別面談

定期的に実施する保護者会では、最新の入試情報や各科目の学習法について、担当講師よりお話をさせていただきます。個別面談では、保護者様と講師でお子様の情報を共有します。成績の向上、さらにはその先にある合格に向けて、お子様が学習効果を最大限に発揮できるようフォロー体制をつくり上げていきます。

● 夏フェス

「夏フェス」は毎年大好評をいただいている早稲田アカデミー主催の学校見学会・講演会です。「学校見学会」では、実際に学校へ足を運んで、各中学校の先生のお話や、実際の生徒たちの様子、学校の設備などを確認できます。ご自身の目や耳で実際に確認することで、学校の本当の姿が見えてきます。

● 秋フェス

複数の学校の先生方をお招きし、学校の魅力を直接お話いただく「秋フェス」の講演会では、学校の特徴を深く知ることによって、お子様に合った学校を探すことができます。

● 中学入試報告会

「中学入試報告会」では、中学入試概況や次年度入試の展望についてお伝えいたします。

早稲田アカデミーの小6難関中学受験対策「NN（何がなんでも）志望校別コース」で指導を行う経験豊富な講師が、科目別の問題分析や傾向について解説いたします。



国語の学習

さまざまな文章やことばに触れながら、論理的な文章読解姿勢の確立を目指す

文種別の読み方や設問別の解き方を学びながら、「なんとなく」という感覚的な読解から脱却し、「物語・小説なら、こう読む」「記述なら、こう解く」という論理的な読解姿勢の確立を目指します。また、「文法」「接続関係」といった“ことばの正しい使い方を理解する学習”と、「和語」「慣用句」といった“さまざまなことばを身につける学習”を並行して進めます。適切かつ豊かなことばの獲得を通じて、読解力の向上につなげます。

授業の流れの例

漢字テスト 10分	言語知識 25分	文章読解 60分	まとめ 5分
--------------	-------------	-------------	-----------

科目別の持ち物

- ①『予習シリーズ』
- ②『最難関問題集』(事前に指示がある回のみ)*
- ③『漢字とことば』の言語知識解答用紙(宿題)
- ④『予習シリーズ』基本問題の解答用紙(宿題)
または『演習問題集』の解答用紙(宿題)

※SSクラスのみ

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

文章読解(基本問題・発展問題)と言語知識(理解が中心の単元)のメインテキストです。いずれも各回のポイントをまとめた説明ページと、問題演習のページで構成されています。問題演習時は付属の解答用紙に解答します。また、解説時には重要な部分に線を引いたり、余白にメモを書き込んだりしながら理解を深めましょう。



演習問題集

家庭学習用

SB・SAクラスで使用する文章読解のサブテキストです。付属の解答用紙に演習してください。評価に迷う記述の解答や解説を読んでもわからない問題は、次の授業時に担当講師に質問しましょう。



漢字とことば

家庭学習用

漢字と言語知識のサブテキストです。各回10字の新出漢字と、『予習シリーズ』とは異なる言語知識(語彙を広げる単元)で構成されています。テキストや付属の解答用紙に直接書き込みながら取り組み、各週で身につけるべき内容を地道に定着させていきましょう。



最難関問題集

授業用

SSクラスで使用する文章読解のサブテキストです。開成・桜蔭をはじめとする最難関校の入試問題に対応するための記述力を鍛える教材です。付属の解答用紙に演習しましょう。



宿題の進め方

ご家庭では「漢字」「言語知識」「文章読解」にバランス良く取り組んでいただきます。「漢字」「言語知識」は次の授業で確認テストを実施して、定着度を測ります。また、「文章読解」は授業で身につけた読み方・解き方を意識して取り組むことが大切です。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間
『漢字とことば』漢字	共通	各漢字の説明部分にある「音読み・訓読み」「筆順」「部首」「用例」などを確認し、正しい筆順を意識しながら各ページにある「なぞり書き」をしてみましょう。	20分程度
		確認問題に取り組みましょう。答えは直接書き込み、解答を見て答え合わせまでしましょう。	20分程度
『漢字とことば』言語知識	共通	言語知識ページに取り組みます。答えは付属の解答用紙に記入し、解答を見て答え合わせをしましょう。	20分程度
『予習シリーズ』基本問題	SS	付属の解答用紙を切り離して、そちらに答えを記入しましょう。	60分程度
『演習問題集』	SB SA		
			合計 120分程度



算数の学習

筋道を立てて、論理的に問題を解決する力を育む

近年の中学入試では、学校のレベルに関わらず初見の問題が多く出題されています。初見の問題を解決するためにはひらめきが必要と思われるがちですが、ひらめきというものはもともと備わっているものでも、短期間で身につくものでもありません。小4からの3年間をかけて、筋道を立てて論理的に考える経験を積むことにより、解法や知識の引き出しが増え、それらが問題を解決するためのひらめきや直観につながります。

授業の流れの例

ミニテスト 15分	新出単元の導入 35分	新出単元の演習 45分	まとめ 5分
--------------	----------------	----------------	-----------

科目別の持ち物

- ①『予習シリーズ』
- ②『予習シリーズ』用ノート
- ③『演習問題集』用ノート(宿題)
- ④『シリーズ計算』(宿題)
- ⑤『最難関問題集』*

※SSクラスのみ

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

授業で使用するメインテキストです。各回のポイントをまとめた例題、基本問題、練習問題のページで構成されています。SSクラスは練習問題まで、SBクラスは基本問題に加えて練習問題の一部まで、SAクラスは基本問題までを定着させることを目標とします。また、授業の板書は、ポイントや公式のみを写しましょう。板書を写すことよりも、教わった通りの方法で実践することで定着度は高まります。



演習問題集

家庭学習用

『予習シリーズ』の類題に加えて、『予習シリーズ』とは異なる切り口からの問題も載っています。基本問題・練習問題のレベル別の構成になっており、クラスに応じて演習する領域は異なります。『演習問題集』用ノートに式や図をかくて演習しましょう。



シリーズ計算

家庭学習用

算数の基礎となる計算練習を行うための家庭学習用教材です。直接テキストに書き込んで演習することを標準としますが、式や筆算を書くスペースを広くとりたい場合は、ノートに演習しても構いません。



最難関問題集

授業用

SSクラス用の教材です。その週に学習する最高レベルの問題が載っている問題集となります。『予習シリーズ』で新出単元の説明や演習を行った後に使用します。難問に対して、筋道を立てて解く力を鍛えます。



宿題の進め方

早稲田アカデミーでは、『予習シリーズ』をメインテキストとして使用し、新出単元の導入と重要な問題の演習を行います。宿題の位置付けはその復習です。宿題では主に『演習問題集』を使用し、授業内で扱った問題の数値替えや類題に取り組めます。授業で習った通りの方法を自ら実践することができるかを確認しましょう。わからない問題は付せんを貼るなど、次回の授業時に質問できるようにしておくといいでしょう。また、そのほかに『シリーズ計算』で算数の基礎となる計算力の強化を図りましょう。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『演習問題集』	SS	反復問題(練習)と実戦演習が宿題となります。2日間に分けて実施するのが効果的です。わからない問題は付せんを貼って次回の授業の際に担当講師に質問しましょう。	80分程度	合計150分程度
	SB	反復問題(基本)の右ページと反復問題(練習)の左ページ、トレーニングの右ページと実戦演習の左ページから宿題を出します。わからない問題は付せんを貼って次回の授業の際に担当講師に質問しましょう。		
	SA	反復問題(基本)とトレーニングから宿題を出します。2日間に分けて実施するのが効果的です。直接書き込んで演習しましょう。わからない問題は付せんを貼って次回の授業の際に担当講師に質問しましょう。		
『シリーズ計算』	共通	できるかぎり1日1ページずつ取り組みましょう。直接書き込んで演習しましょう。	10分×7日	



社会の学習

自然や産業に関する理解を深めながら、日本各地の特色を学ぶ

都道府県や特色ある地域、農業などの地理分野の基礎となる重要な内容を学習します。社会の学習は覚えることができれば問題ないと思われがちですが、中学入試は単純な暗記だけでは対応できません。普段から身の回りで起こっていることにアンテナを張って、ものごとのつながりや背景を理解しながら、知識事項を有機的に身につけることが重要です。

授業の流れの例

確認テスト
デジタル教材を用いた新出単元の説明
45分

まとめ5分

科目別の持ち物

- ①『予習シリーズ』
- ②『考える社会科地図』
- ③『演習問題集』(宿題)
- ④『練成問題集』(宿題)
- ⑤『都道府県マスター』(宿題)
- ⑥授業用ノート1冊

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

毎回の授業で使用するメインテキストです。カラー写真や図版も効果的に掲載され、わかりやすく学習を進めることができます。各回の最後に載っている要点チェックには、重要度の高い知識事項が効果的にまとめられています。



演習問題集

家庭学習用

「まとめてみよう!」「練習問題」「発展問題」で構成されている演習用の教材です。「発展問題」では実際に入試で出題された問題を扱い、実戦的な力を育てていきます。



都道府県マスター

家庭学習用

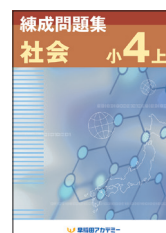
都道府県に関する知識事項を身につけるためのオリジナル教材です。資料ページには各都道府県の県庁所在地や形、おもな特産品や都道府県マークといった都道府県への興味・関心を深める内容を盛り込んでいます。



練成問題集

家庭学習用

知識事項を確認するトレーニング、標準的な問題を演習する基本問題、応用的な内容も含む練習問題で構成されています。直接書き込んで使います。



考える社会科地図

授業用

家庭学習用

地理を学習する際に、地図帳は欠かせません。各地の様子が写真やイラストでわかりやすく紹介されています。その他、統計資料や世界地図も含め、さまざまなコンテンツを含む充実した内容となっています。



デジタル教材

授業用



お子様自らが気づく仕掛け、発展性のある問いをスライドに組み込みます。また、静的よりも動的、スライドならではの動きを取り入れることで授業への興味・関心を引き出したのち、授業内での演習を通して知識の定着を図ります。

宿題の進め方

ご家庭では、授業での学習内容を身につけるに加え、地理分野を学習するうえで早いタイミングから進めておくことと有利な都道府県に関する知識を身につける学習に取り組んでいただきます。時間に余裕があれば『考える社会科地図』を用いて、各週の学習内容に関係の深い地名などを調べておくことをおすすめします。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間	
『演習問題集』	SS	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう！」 発展問題に取り組みましょう。	25分 程度	合計 60分 程度
	SB SA	付属の解答用紙を切り離して、「まとめてみよう！」 練習問題に取り組みましょう。		
『練成問題集』	SS	練習問題に取り組みましょう。	15分 程度	
	SB	基本問題に取り組みましょう。		
	SA	トレーニングに取り組みましょう。		
『都道府県マスター』	共通	各週で指定されたページに取り組めます。都道府県や 都道府県庁所在地の名前などをきちんと答えられるよう にしましょう。	20分 程度	



理科の学習

身の回りの現象に目を向け、しくみを考え、理解する。興味・関心が視野を広げ、考える力を伸ばす

理科の学習では、覚えることを勉強の中心にしてしまいがちです。確かに、基本的な知識の習得をおろそかにしてはなりません、理科の学習で一番大切なことは、考えることです。何が起きているのか、なぜそうなるのか、さまざまなものに目を向けてしくみを理解する。知的好奇心を出発点に、考えて解く力を伸ばします。

授業の流れの例

確認テスト デジタル教材を用いた新出単元の説明 45分	まとめ5分
-----------------------------------	-------

科目別の持ち物

- ①『予習シリーズ』
- ②『演習問題集』(宿題)
- ③『練成問題集』(宿題)
- ④授業用ノート1冊

教材の紹介

予習シリーズ

授業用

家庭学習用

毎週新しい単元を学習していくためのメインテキストで、カラー写真や図版を使った説明が載っています。各回の基本事項にあたる要点チェックと、4回分のまとめにあたる総合回の練習問題で、定着の浅いところを確認しておきましょう。



演習問題集

家庭学習用

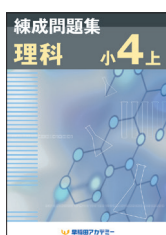
『予習シリーズ』の内容をまとめる「まとめてみよう!」、カリキュラムテストや組分けテストと同水準の練習問題、入試問題の改題にチャレンジする発展問題があります。SSクラスは練習問題、SBクラスとSAクラスは練習問題(抜粋)に取り組みます。



練成問題集

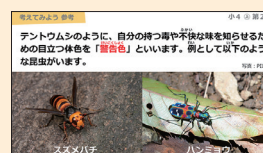
家庭学習用

各回の基礎を確認するトレーニング、標準的な問題を演習する基本問題、考えさせる内容なども含む練習問題があります。テキストに直接書き込んで使います。SSクラスは基本問題と練習問題、SBクラスとSAクラスはトレーニングと基本問題に取り組みます。



デジタル教材

授業用



理解を補うための画像や図をふんだんに組み込んだスライドを用いて授業を行います。複雑な現象はアニメーションを使いながら、原理原則までを理解させていきます。ライブの授業に視覚的効果の高いデジタル教材を組み合わせ、楽しみながら理科の学習を進めていきます。

宿題の進め方

授業後すぐに問題集に取り組むのではなく、『予習シリーズ』の要点チェックに取り組み、授業で学習した内容を復習してから演習に取り組んでください。問題集に取り組むときは、時間を決めて演習し、丸付けと直しを行ってから先に進むと効果的です。

内容	クラス	取り組み方法	1週間の目安時間
『予習シリーズ』 要点チェック	共通	『予習シリーズ』の説明部分(今回のまとめ)を確認しながら要点チェックに取り組んでください。	10分程度
『練成問題集』	SS	基本問題と練習問題に取り組みましょう。	20分程度
	SB・SA	トレーニングと基本問題に取り組みましょう。	30分程度
『演習問題集』	SS	練習問題に取り組みましょう。発展問題は担当より指示を出します。	30分程度
	SB・SA	練習問題(抜粋)に取り組みましょう。	20分程度
			合計 60分程度

カリキュラムテスト実施要項

「カリキュラムテスト」は、小4の必修テストです。

- **出題範囲** 2週間分の学習内容
- **受験会場** 通常授業と同一校舎
- **持ち物** えんぴつ（Bまたは2B）／消しゴム
3色ボールペン（赤・青えんぴつ可）
定規／二次元コードシール

- **タイムテーブル（右図）**

やむを得ない事情で受験ができない場合は振替受験が可能です。
前週土曜日14:30までにお通りの校舎へご連絡ください。

開始	終了	内容
13:30	13:35	受験登録
13:35	13:50	理科／社会 テスト①
13:50	14:05	理科／社会 テスト②
14:05	14:10	休憩
14:10	14:40	算数／国語 テスト①
14:40	15:10	算数／国語 テスト②
15:10	15:15	休憩
15:15	15:35	算数／国語 解説授業①
15:35	15:55	算数／国語 解説授業②
15:55	16:00	解答解説配布

- **問題の種別と試験時間・配点**

通常授業のクラス	コース名	国語 30分(100点)	算数 30分(100点)	社会 15分(50点)	理科 15分(50点)
SSクラス	Cコース	C問題	C問題	C問題	C問題
SBクラス	Bコース	B・A問題	B問題	B・A問題	B・A問題
SAクラス	Aコース		A問題		

- **カリキュラムテストに向けた勉強の仕方**

国語

目標点 Cコース 70点／Bコース 75点／Aコース 65点

漢字は、全コースとも『漢字とことば』の確認問題が全問正解できるレベルまで仕上げましょう。言語知識は、B・Aコースでは『予習シリーズ』『漢字とことば』の問題部分が7割程度は正解できるように、Cコースではそれに加えて説明部分に出てくるものも7割程度定着している状態を目指しましょう。文章読解は、Cコースは『予習シリーズ』発展問題で7割、Bコースは基本問題で7割、Aコースは基本問題で6割正解できるようにしていきましょう。

算数

目標点 Cコース 70点／Bコース 75点／Aコース 75点

Aコースは『予習シリーズ』の例題に加えて、基本問題の領域から出題されます。BコースはAコースの内容に加えて『予習シリーズ』の練習問題左ページまでの領域、CコースはBコースの内容に加えて、『予習シリーズ』の練習問題の全ての領域から出題されます。それぞれの問題の見直しをしておきましょう。

社会

目標点 Cコース 40点／Bコース 40点／Aコース 36点

授業で出された宿題にしっかりと取り組んでおきましょう。大問一と二は『予習シリーズ』の学習内容から重要度の高い知識事項が出題されます。『予習シリーズ』をよく読んでおきましょう。大問三は都道府県に関する問題です（前期は全コース共通、後期はCコースのみ別問題）。都道府県や都道府県庁所在地の名前などを正しく答えられるように『都道府県マスター』の資料ページなどを見直しておきましょう。

理科

目標点 Cコース 35点／Bコース 40点／Aコース 35点

授業で出された宿題にしっかりと取り組んでおきましょう。大問一は基本事項の確認、大問二と大問三は各単元の内容に基づく標準的な問題となっています。まずは『予習シリーズ』の要点チェックや『練成問題集』のトレーニングを復習し、基本的な知識の定着を図っておきましょう。そのうえで、Bコース・Aコースであれば『練成問題集』の基本問題、Cコースであれば『練成問題集』や『演習問題集』の練習問題を復習し、考え方や解き方を確認しておきましょう。

● カリキュラムテストの復習の仕方

国語

大問一の漢字、大問二の言語知識は、間違えたものをすぐに正しく覚え直しましょう。大問三の文章読解は、解説授業をしっかりと聞いて、間違えた問題の正しい解答の導き方を理解しましょう。

算数

主に最後の大問はテスト後の解説授業で担当講師が説明しますので、しっかりと聞いておきましょう。細かな計算ミスは見直し程度にとどめ、解き方が思い浮かばなかったり、方針が立てられなかったりした問題を中心に、解説授業後に解き直しをしましょう。

社会

大問一・大問二は重要度の高い知識事項を中心に出题されます。間違えた問題は組分けテストまでに復習しておきましょう。大問三は『都道府県マスター』の内容に基づいた問題です。都道府県や都道府県庁所在地の名前、おもな地形を正しく答えられるように見直しおきましょう。

理科

大問一は知識の確認問題です。間違えたところを『予習シリーズ』で確認しておきましょう。大問二・大問三は各単元の確認問題です。実験結果を考える問題は正しい答えを確認し、計算問題は解説を見たうえで、組分けテストまでにできるようにしておきましょう。

● カリキュラムテスト・公開組分けテスト出題範囲表（必修）

実施日	テスト名	出題範囲
2/21(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第1回
		予習シリーズ4年上 第2回
3/7(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第3回
		予習シリーズ4年上 第4回
3/14(土)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年上 第5回
4/11(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第6回
		予習シリーズ4年上 第7回
4/25(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第8回
		予習シリーズ4年上 第9回
5/9(土)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年上 第10回*
5/23(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第11回
		予習シリーズ4年上 第12回
6/6(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第13回
		予習シリーズ4年上 第14回
6/13(土)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年上 第15回*
6/27(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第16回
		予習シリーズ4年上 第17回
7/11(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年上 第18回
		予習シリーズ4年上 第19回
7/18(土)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年上 第20回*

実施日	テスト名	出題範囲
8/30(日)	公開組分けテスト	既習範囲全て
9/12(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第1回
		予習シリーズ4年下 第2回
9/26(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第3回
		予習シリーズ4年下 第4回
10/4(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年下 第5回
10/17(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第6回
		予習シリーズ4年下 第7回
10/31(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第8回
		予習シリーズ4年下 第9回
11/8(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年下 第10回*
11/21(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第11回
		予習シリーズ4年下 第12回
12/5(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第13回
		予習シリーズ4年下 第14回
12/13(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年下 第15回*
1/16(土)	カリキュラムテスト	予習シリーズ4年下 第16回
		予習シリーズ4年下 第17回
		予習シリーズ4年下 第18回
1/24(日)	公開組分けテスト	予習シリーズ4年下 第19回*

カリキュラムテストでは、原則2週分の学習内容の定着度を確認します。

*4月以降の公開組分けテストは、前の総合回の学習内容がおよそ3割出題されます。

前期カリキュラム

2月～7月(全20回)

国 語		
第 1 回	物語・小説 (1) / 場面①	日本語の文字・五十音図 / 和語①
第 2 回	物語・小説 (2) / 場面②	かなづかい / 慣用句①
第 3 回	説明文・論説文 (1) / 話のつながり①	送りがな / 熟語の組み立て
第 4 回	説明文・論説文 (2) / 話のつながり②	国語辞典の使い方 / 三字の熟語・四字の熟語
第 5 回	総合	
第 6 回	物語・小説 (3) / 人の気持ち①	漢字の成り立ち・漢字の音訓 / 和語②
第 7 回	物語・小説 (4) / 人の気持ち②	漢字の部首 / 慣用句②
第 8 回	説明文・論説文 (3) / 話題	漢字の画数・筆順 / 同音異字・同音異義語
第 9 回	説明文・論説文 (4) / 形式段落と意味段落①	漢和辞典の使い方 / 同訓異字
第 10 回	総合	
第 11 回	物語・小説 (5) / 人の気持ち③	文を読む①－主語・述語を読む / 和語③
第 12 回	物語・小説 (6) / 人の気持ち④	文を読む②－修飾・被修飾関係を読む / ことわざ①
第 13 回	説明文・論説文 (5) / 形式段落と意味段落②	文を読む③－主語・述語・修飾語の復習 / 類義語
第 14 回	説明文・論説文 (6) / 形式段落と意味段落③	文を読む④－分けて〈関係〉を考える / 対義語
第 15 回	総合	
第 16 回	物語・小説 (7) / 人の性格	敬語① / 外来語
第 17 回	物語・小説 (8) / 場面展開と心情変化	敬語② / ことわざ②
第 18 回	説明文・論説文 (7) / 要旨①	文章符号の使い方 / 特別な読みの言葉
第 19 回	説明文・論説文 (8) / 要旨②	原稿用紙の使い方・作文を書く / 四季の言葉 (春・夏)
第 20 回	総合	

	算 数	社 会	理 科
第 1 回	かけ算とわり算の文章題	健康で住みよいくらし	磁石
第 2 回	計算のきまり	ものを売る仕事	昆虫
第 3 回	角の性質	昔のくらしと今のくらし	流れる水のはたらき
第 4 回	和と差の問題	都道府県と地方 (1)	季節と天気
第 5 回	総合	総合	総合
第 6 回	小数と単位	都道府県と地方 (2)	春の生物
第 7 回	分数の性質	地図の見方 (1)	太陽
第 8 回	三角形の角	地図の見方 (2)	水のすがた
第 9 回	いろいろな四角形	一年中あたたかい地方のくらし	光
第 10 回	総合	総合	総合
第 11 回	三角形の面積	寒さのきびしい地方のくらし	植物の成長
第 12 回	間数を考える問題	雪の多い地方のくらし	植物のつくりとはたらき
第 13 回	周期を考える問題	冬に晴れる日の多い地方のくらし	身のまわりの空気と水
第 14 回	等差数列	雨の少ない地方のくらし	金属
第 15 回	総合	総合	総合
第 16 回	約数	盆地のくらし	夏の生物
第 17 回	倍数	低い土地のくらし	星座をつくる星
第 18 回	一方におきかえて解く問題	高い土地のくらし	星座の動き
第 19 回	立方体と直方体の性質	海とともにあるくらし	動物
第 20 回	総合	総合	総合

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

国語

● 物語・小説(1)／場面①

学習内容 ■ 場面①

「場面」を構成する要素のうち、「いつ・どこで＝時・場所」と、「だれが＝登場人物」を正確に捉えることを目指します。

● 日本語の文字・五十音図／和語①

 学習内容 ■ 日本語の文字（漢字・ひらがな・カタカナ）
 ■ 五十音図（清音・濁音・半濁音・拗音）
 ■ 和語を身につける

まずは、「段」「行」という見方や、「清音」「濁音」といった用語を理解するところから始めましょう。字形や筆順については、『予習シリーズ』に紹介された間違えやすいものをひと通り確認してください。

また、『漢字とことば』では、「和語」を学習します。「覚えておきたい和語」に紹介されているものを、丁寧に身につけていきましょう。

算数

● かけ算とわり算の文章題

 学習内容 ■ 整数のかけ算
 ■ 整数のわり算
 ■ かけ算とわり算の文章題

小3までに学習している整数のかけ算・わり算の計算方法を学習します。かけ算では末尾に0がつく数どうしを計算する際の工夫の方法、わり算では3けた÷2けたの数の筆算の方法を確認します。また、文章題も数多く扱うので、かけ算とわり算のどちらを用いて計算するかの判断ができるようにすることや、わり算のあまりが何を指すかについて考えることができるようにしましょう。

社会

● 健康で住みよくらし

 学習内容 ■ 水道水のでき方
 ■ ごみ処理とごみを減らす工夫
 ■ 昔のごみと今のごみ

水道水をつくり、処理するまでの流れを通して、水が私たちの生活と環境に与える影響について学習します。さらに、ごみ処理（ごみの分別の重要性）やごみを減らす工夫（3つのR）についてもしっかりと覚えていきましょう。また、近年話題となっている海洋汚染問題についても触れていきます。

理科

● 磁石

 学習内容 ■ 磁石の性質
 ■ 磁石をつくる
 ■ 電磁石

磁石には棒磁石、U型磁石などさまざまな種類があります。それらの名称とともに、磁石につく金属（鉄・ニッケル・コバルト）をしっかりと確認します。また、磁石を使って方位を調べることができることも覚えておきましょう。

磁石の同じ極どうしはしりぞけ合い、違う極どうしは引きつけ合います。ここでは磁石を糸でつるしたり、切ったり（ゴム磁石）したときの様子や、磁石でぬい針を何回もこすったときの極の様子などをしっかりと覚えるようにしましょう。

電磁石は電流が流れているときだけ磁石になります。電流の流れる向きや導線の巻き方を変えることでN極とS極を反対にすることもできます。永久磁石との違いに目を向けましょう。

国語

● 物語・小説(2)／場面②

学習内容 ■ 場面②

まずは、第1回同様に「場面を正確に捉える」練習を重ねます。そのうえで、この回では「場面が変わるところで文章を分ける」という作業ができるようになることを目指しましょう。

● かなづかい／慣用句①

 学習内容 ■ 現代かなづかいのルール
 ■ 慣用句を身につける

『予習シリーズ』で「注意」と強調されている間違えやすい言葉については、しっかりとチェックしておきましょう。

また、『漢字とことば』では、「体の一部を表す言葉を使った慣用句」を身につけていきます。

算数

● 計算のきまり

 学習内容 ■ 計算の順序
 ■ 逆算
 ■ 計算の工夫

（ ）内の計算の優先、かけ算・わり算の優先など、正しい計算の順序を学びます。また、正しい計算の順序を理解しているからこそ行うことができる、逆算や計算の工夫にも幅を広げて学習します。

計算の工夫は、交換法則、結合法則、分配法則などに分類することができます。それらを公式として覚えるのではなく、まずは単純な数の計算から取り組み、自然と効率よく計算する方法を身につけていきましょう。

社会

● ものを売る仕事

 学習内容 ■ スーパーマーケットのしくみや工夫
 ■ さまざまなお店
 ■ みんながくらしやすくなるための工夫

スーパーマーケットやコンビニエンスストアを例に、ものを売る仕事について学習します。商品を買ってもらうための工夫、買う人の工夫や心構え（安全で無駄がないように）なども考えてみましょう。また、人々がくらしやすくなるための工夫として、バリアフリーを学習していきます。さまざまな例を覚えていきましょう。

理科

● 昆虫

 学習内容 ■ 昆虫のからだ
 ■ 昆虫の成長のしかた
 ■ 昆虫に近いなかま

昆虫のからだの特徴をしっかりと覚えるようにしましょう。頭、胸、腹の3つのつくりに分かれていることや、触角や複眼、気門気管などはたらしが特に重要です。モンシロチョウに関しては入試でもよく出題されます。幼虫のあしのつき方や口のつくりの変化などにも注意してください。

チョウやガのなかま以外にも、甲虫（前羽がかたい昆虫）やハチ・アリ、ハエ・カのなかまはさなぎになります。一方、カマキリ、トンボ、バッタ、セミ・カメムシのなかまはさなぎになりません。昆虫ごとに完全変態・不完全変態のどちらに当てはまるのかを覚えることがポイントです。

昆虫に近いなかまに、どのような動物がいるかも確認しておきましょう。

国語

● 説明文・論説文(1)／話のつながり①

学習内容 ■ 話のつながり①

説明文・論説文を読むにあたって重要な「接続語」について学習します。まずは、『予習シリーズ』で紹介されている接続語のはたらきに慣れ親しみましょう。

● 送りがな／熟語の組み立て

学習内容 ■ 送りがなの付け方のルール
■ 二字の熟語の組み立て

この回は、問題を解き進めながら、正しい送りがなの付け方をその場で確認していけば良いでしょう。なお、『予習シリーズ』で紹介されている「活用」については、細かく覚える必要はありません。また、『漢字とことば』で扱う「熟語の組み立て」では、二字の熟語の9種類の組み立てパターンを理解するところから始めます。

算数

● 角の性質

学習内容 ■ 角の大きさ
■ 対頂角
■ 平行と角

1周が360度、直線は180度など、角の大きさの表し方の基本を学習します。また、2本の直線が交わっているとき、向かい合う角が等しくなる対頂角の関係、平行な直線に1本の直線が交わることで現れる同位角や錯角の関係を学習します。

等しい角の関係の基本パターンを理解したうえで、これらの関係を問題の図中から発見することができるようになることが目標です。等しい角に同じ記号をつける習慣はこれからの平面図形の学習の基礎となります。この回をスタート地点としてしっかりと習慣化しましょう。

社会

● 昔のくらしと今のくらし

学習内容 ■ 洗濯の昔と今
■ 情報を得るための機械（昔と今）
■ くらしに欠かせない電気

昔と今を比較しながら学習を進めます。昔はたらいと洗濯板を使って衣類を洗っていましたが、現在は洗濯機を用います。また、情報化社会の現在、情報を得るための機械がさまざま存在します。情報の取り扱い方なども確認しましょう。

理科

● 流れる水のはたらき

学習内容 ■ 雨水のはたらき
■ 川のように
■ 流れる水の利用

流れる水は地面を削って運び、流れがおそくるところで砂やどろを積もらせます。流水実験器による実験から、かたむきが急なときや水の量が多いときに地面を削って運ぶはたらきが強くなることを確認し、川のようにすについて理解を深めましょう。特にまっすぐな川と曲がっている川の速さの違いと、川底の石の様子の違いは重要です。

川の上流・中流・下流の様子では、石の形や大きさ、水量と川はばなどがポイントです。流れる水の3つのはたらきとともに覚えておきましょう。流れる水を利用した水車や水力発電所がどのようなものか確認しておきましょう。

国語

● 説明文・論説文(2)／話のつながり②

学習内容 ■ 話のつながり②

説明文・論説文を読むにあたって重要な「指示語」について学習します。指し示している内容を、正確につかむ練習を重ねましょう。

● 国語辞典の使い方／三字の熟語・四字の熟語

学習内容 ■ 国語辞典における言葉の並び順のルール
■ 三字熟語の組み立て
■ 四字熟語を身につける

「国語辞典の使い方」では、正しくルールを身につけ、「国語辞典に出ている順に言葉を並べ替える」というタイプの問題を正確に解くことを目指しましょう。

また、『漢字とことば』では、「三字熟語・四字熟語」を学習します。特に「覚えておきたい四字熟語」については、丁寧に身につけましょう。

算数

● 和と差の問題

学習内容 ■ 線分図
■ 和差算(2量の場合)
■ 平均と和差算
■ 和差算(3量以上の場合)

数の大小を比べる、数の和や差を視覚的に捉える、そのようなときに有効な手段が線分図です。文章題の情報を整理するために、今後頻繁に利用する手段となります。線分図のかき方、かいた後の値の求め方をしっかりと身につけておきましょう。また、ある2数の和と差の条件がわかっている場合、それぞれの値を求めることができる、という逆算的な考え方もとても大切です。条件が2量の場合の問題で練習を積み、3量の場合の問題にトライする、というように段階を踏んで理解を深めましょう。

社会

● 都道府県と地方(1)

学習内容 ■ 北海道地方
■ 東北地方
■ 関東地方
■ 中部地方
■ 自然がつくりだすさまざまな境目

日本にある8つの地方のうち、4つの地方とそこにふくまれる都道府県について学習をしていきます。都道府県名や都道府県庁所在地はもちろんのこと、面積の大きい都道府県や人口の多い都道府県など、いつもとは異なる分け方で学習をします。また、山や川などがつくりだす県境について、『考える社会科地図』をうまく使いながら理解を深めていきます。

理科

● 季節と天気

学習内容 ■ 天気
■ 季節と天気
■ 気象の観測

天気の基本知識として、天気予報で耳にする「快晴」「晴れ」「くもり」などの用語について、意味を理解しておくことが大切です。また、日本各地における気温の変化や降水量の変化について確認しておきましょう。

季節と天気については、夏の天気と冬の天気、梅雨、台風が重要です。特に冬は日本海側と太平洋側で天気が大きく異なることに注意しなければなりません。また、猛暑日や真冬日などの気温の条件についても整理しておくことが大切です。

気温のはかり方、地温のはかり方は決まっています。その方法の一つひとつを押さえておきましょう。アメダスやひまわりなども、どのようなものか確認しておきましょう。

国語

● 物語・小説(3)／人の気持ち①

学習内容 ■ 人の気持ち①

文章中に「心情の直接描写」が出てきた際、それに反応し、チェックを入れられるようになることが、この回の目標です。

● 漢字の成り立ち・漢字の音訓／和語②

学習内容 ■ 漢字の成り立ち(六書)
■ 漢字の音訓
■ 和語を身につける

漢字の成り立ちを4種、用法を2種に分類したものを「六書(りくしょ)」と呼びます。まずは、成り立ちの4種類「象形・指事・会意・形声」について見分けられるようになることを目指しましょう。一方で、漢字の音訓については、問題を解きながら確認できれば十分です。

また、『漢字とことば』では、第1回に続けて、「和語」を身につけていきます。

算数

● 小数と単位

学習内容 ■ 小数のしくみ
■ 小数のたし算・ひき算
■ 長さ・重さ・かさの単位

小数第2位までの数は小3でも触れていますが、より小さい数まで幅を広げて学習していきます。小数という数の仕組み、表し方を理解すること、小数のたし算とひき算を正しくできるようにすることが大きな目標です。特に小数のたし算・ひき算では小数点の位置を揃えて計算する必要があるため、これを機に丁寧に筆算式を書く習慣をつくりましょう。また、長さ・重さ・かさの単位に関して、はじめは単位のものさしに当てはめるという学習で構いません。時間とともに頭の中で単位換算ができるようになるものです。

(例) かさの単位



社会

● 都道府県と地方(2)

学習内容 ■ 近畿地方
■ 中国地方
■ 四国地方
■ 九州地方
■ 都道府県のいろいろ(都道府県の漢字やマーク)

近畿地方から九州地方の都道府県について学習していきます。第4回と同様に、これらの地方にふくまれる都道府県を学習しながら、面積の小さい都道府県や人口の少ない都道府県など、押さえてほしいデータについても扱います。『予習シリーズ』第6回の最後にある「ちょっとくわしく」のコーナーでは、都道府県のマークについて、その成り立ちとあわせて確認していきます。

理科

● 春の生物

学習内容 ■ 春になると
■ 春の植物
■ 春の動物

野原や花だんで見かける植物について確認します。春の七草は、ここで覚えておきたい内容です。また、帰化植物であるセイヨウタンポポ、シロツメクサ、ハルジオンなども重要です。春を代表する木であるソメイヨシノに関しては、ふくらみの大きいのが花の芽で小さいのが葉の芽であること、開花前線が北上することなどがポイントです。また、サツマイモやジャガイモについても、違いを確認しておきましょう。

昆虫では、モンシロチョウが初めて見られる日に関する図を確認し、開花前線と同じく北上することを覚えておきましょう。動物に関しては、カエルやツバメについて少し詳しく確認する必要があります。春の動物は図鑑などで確認しておく興味を持ちやすいでしょう。

国語

● 物語・小説(4)／人の気持ち②

学習内容 ■ 人の気持ち②

今回は、「表情・動作・態度・行動・発言・情景」といった「心情の間接描写」から、登場人物の気持ちを読み取る練習を重ねます。

● 漢字の部首／慣用句②

学習内容 ■ 部首の分類と名称
■ 部首を間違えやすい漢字
■ 慣用句を身につける

「漢字と部首」では、はじめに「へん・つくり・かんむり・あし・たれ・によ・かまえ」という7種類の分類を覚えましょう。あとは、それぞれに含まれる部首を、問題演習を通して身につけていきます。

また、『漢字とことば』では、「動物に関係する言葉を使った慣用句」「植物に関係する言葉を使った慣用句」を身につけていきましょう。

算数

● 分数の性質

学習内容 ■ 分数の意味
■ 単位のついた分数
■ 真分数・仮分数・帯分数
■ 分母が等しい分数のたし算・ひき算

分数には、ある大きさを●等分したときの▲個分の大きさを表すという意味もあれば、小数同様に1より小さい数を表す意味もあります。その判断は分数の後ろに単位があるかないかで判断することができます。まずはその違いを分類できるようにしましょう。また、分数のたし算・ひき算の方法も学習します。現段階では異分母分数のたし算・ひき算は学習しませんが、仮分数と帯分数の変換など、計算を始める前に分数のかたちを揃えるといった手間が生じます。一連の動作を同時に行おうとするとミスが起きやすくなります。順序立てて丁寧に計算するように心掛けましょう。

社会

● 地図の見方(1)

学習内容 ■ 地図の方位
■ 地図の記号
■ 縮尺の約束

「四方位」や「八方位」を学習します。方位では「東西」よりも「南北」を先にして方位の名前を決めているルール(地名としての「東北(東北地方)」はあっても、方位としては「東北」ではなく「北東」となる)ということをしっかり覚えておきましょう。さらに、たくさんの地図記号を覚えるとともに記号の由来まで身につける必要があります。

理科

● 太陽

学習内容 ■ 太陽と地球
■ 太陽の動きと位置の表し方
■ 地面にできる影

太陽の直径(約140万km)、表面の温度(約6000度)、地球からの距離(約1億5000万km)、地球の直径(約1万3000km)などの数値を押さえておきましょう。太陽については黒点、プロミネンス、コロナなども大切です。地球の自転の向きと、太陽の見かけの動きも確認しましょう。

日の出と日の入り、太陽の南中、南中高度、南中時刻などは、場所による違いや1年の中での変化も含めて確認しておく必要があります。南中高度を分度器で測る方法は少し難しい内容です。日影曲線に関しては、1日の中でどのような動きをするのか、1年のうち春分・夏至・秋分・冬至でどのような違いがあるのかを、図を描きながら理解していくと良いでしょう。

国語

● 説明文・論説文(3)／話題

学習内容 ■ 話題

説明文・論説文を読むにあたり、はじめに「文章が何について論じているのか」という「話題」をつかむ練習を重ねます。

● 漢字の画数・筆順／同音異字・同音異義語

学習内容 ■ 漢字の画数
■ 漢字の筆順の主なきまり
■ 同音異字・同音異義語を身につける

画数については、一画一画丁寧に数えるようにすることが大切です。筆順については、『予習シリーズ』にある「きまりに合わないものやまちがえやすいもの」を確認しながら演習を進めましょう。

また、『漢字とことば』で学習する「同音異字・同音異義語」については、文脈に応じて正しく書き分けられるようにすることが大切です。

算数

● 三角形の角

学習内容 ■ 三角形の角
■ 二等辺三角形・正三角形の性質
■ 直角三角形・直角二等辺三角形の性質
■ 複合図形

三角形の角に関して学習します。外角の定理といった角度を求める手段を学習するとともに、二等辺三角形、正三角形などの特殊な三角形の性質にも触れます。特に二等辺三角形では、頂角から垂線を引くことで合同な直角三角形2つに分割できることなど、今後の平面図形の学習の中で極めて重要なことに触れる機会です。また、第3回の「角の性質」同様に、等しい辺や角に同じ記号をつける習慣づくりも重要です。今一度確認しておきましょう。

社会

● 地図の見方(2)

学習内容 ■ 等高線(地図の高低)
■ 縮尺(計算)
■ いろいろな地図(紙と電子版)

等高線から土地の高さをみることや、斜面の傾斜の度合い(ゆるやか・急)、そして山の形の読み取りを学習します。さらに、2本の等高線の高さの差から縮尺を見抜けるようにしましょう(高さが10mごとに引かれていれば2万5千分の1など)。また、地図上の長さや実際の距離を比べる計算問題の演習も行います。

理科

● 水のすがた

学習内容 ■ 水の蒸発と沸とう
■ 水の3つのすがた
■ 地球上をめぐる水

間違えやすい知識の整理が大切です。「蒸発」は水が水面から水蒸気になること、「沸とう」は水の内部でも水蒸気になることです。「水蒸気」は目に見えない水の気体で、「湯気」は水蒸気が冷やされてできた、目に見える小さな水の粒です。他にも、水がおおときの様子や寒剤についてもしっかりと確認しておきましょう。

水は熱したり冷やしたりすることで、そのすがたを固体⇄液体⇄気体と変えていきます。水は水蒸気になると体積が約1600倍になり、氷になると体積が約1.1倍になります。

水は、太陽の熱エネルギーによってすがたを変えながら、地球上を循環しています。地球上をめぐる水の合計は変わらないことがポイントです。

国語

● 説明文・論説文(4)／形式段落と意味段落①

学習内容 ■ 形式段落と意味段落①

「形式段落ごとの重要な内容」を「要点」と言います。一つの形式段落を読み終えたら、その段落の要点を振り返るようにしましょう。

● 漢和辞典の使い方／同訓異字

学習内容 ■ 漢和辞典の使い方
■ 同訓異字を身につける

第6～8回で学習した漢字についての知識を総動員して、漢和辞典を使いこなせるようになることが目標です。

また、『漢字とことば』で学習する「同訓異字」は、同音異義語と同様に、漢字そのものを覚えるだけでなく、文脈にふさわしい字を使い分けられるようにする必要があります。

算数

● いろいろな四角形

学習内容 ■ 四角形の分類
■ 正方形・長方形の面積
■ 平行四辺形・台形・ひし形の面積
■ 四角形の応用問題

台形、平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の性質を正確に分類し、それぞれの面積の求め方を理解することが目標です。四角形の性質について対角線の性質が細かく、理解不足となってしまう場合があります。2本の対角線の長さが等しいのか異なるのか、対角線どうしが直交するかなど、細かな知識の理解も深めておくことで、角度に関する問題にも対応できるようになります。また、面積の求め方については、『予習シリーズ』に載っているように、面積の公式の意味も理解しておきましょう。

社会

● 一年中あたたかい地方の暮らし

学習内容 ■ 沖縄の位置と自然
■ 沖縄の観光
■ 沖縄の暮らしと歴史

東京から南西におよそ1600kmにあることから、あたたかい(1月の平均気温が17℃前後)沖縄の自然や人々の暮らし、そして生活の工夫について学習します。また、「琉球王国」「太平洋戦争」「返還まで」「アメリカ軍基地が残る現在」などの歴史や沖縄の苦勞について理解を深めていきましょう。

理科

● 光

学習内容 ■ 光
■ はね返される光
■ 曲げられる光

光の進み方について、実際の現象をもとに学習します。「影ができること」「ピンホールカメラ」は光の直進です。図を覚えるのではなく、図を描いてどのような像ができるかを理解しましょう。

「鏡ではね返される光」「鏡にうつる像」は光の反射です。入射角と反射角が等しいことが基本で、鏡にうつる像の見え方や像の位置などがポイントです。ここをしっかりと押さえておきましょう。

光が空気・水・ガラスの境目やとつレンズを通るときに折れ曲がることを「屈折」といいます。光が屈折するときどのような道筋を通るのか確認します。また、とつレンズでは、虫めがねを通った後の太陽の光の道すじと、紙に写る影の図がポイントです。焦点、焦点距離といった用語とともにしっかりと身につけておきましょう。

国語

● 物語・小説(5)／人の気持ち③

学習内容 ■人の気持ち③

「出来事→気持ち」というつながりを意識しながら、登場人物の気持ちを「論理的に」捉える練習を重ねます。

● 文を読む①—主語・述語を読む／和語③

学習内容 ■文の主語・述語を正確に掴む
■和語を身につける

『予習シリーズ』では、「一文一文の正確な理解→文章全体の理解」という流れを大切にしています。そのために、まずは文の主語・述語を正確につかめるようにすることが、この回の目標です。

また、『漢字とことば』では、第1・6回に続けて、「和語」を身につけていきます。

算数

● 三角形の面積

学習内容 ■直角三角形の面積
■三角形の面積
■いろいろな図形の面積

三角形の面積の求め方や直角三角形、直角二等辺三角形の性質を学習します。四角形の面積よりもパターンが少なく、一見簡単そうですが、三角形の向きが傾いている場合や、1つの角が90度をこえる角を含む三角形の面積など、底辺と高さをどこに設定すれば良いのかでつまづくケースがあります。高さに設定できる辺(直線)の根元には必ず直角があります。それをもとに底辺と高さを正確に設定できるようにしましょう。

社会

● 寒さのきびしい地方の暮らし

学習内容 ■十勝平野の自然
■十勝平野の暮らしと農業
■オホーツク海の流氷

寒さのきびしい十勝平野の自然や暮らしの工夫、そして、夏に濃霧におおわれる理由について学習します。さらに流氷についても学習します。また、農業では畑作の工夫(連作障害に対する輪作)や酪農の工夫や問題点まで理解を深めていきましょう。

理科

● 植物の成長

学習内容 ■植物の成長
■種子で増える植物
■親のからだの一部で増える植物

植物が発芽してから開花、結実するまでの流れを学習します。種子で増える植物として、アサガオ、ヘチマ、アブラナ、クヌギといった身近な植物の様子を押さえます。特に重要なのは、種をまく時期、種子の形、芽生えの様子です。『予習シリーズ』の図をもとにしっかりと確認しましょう。また、アサガオのつるの巻き方(支柱の上の方から見て反時計回り)やアブラナのおしべの本数なども押さえておきましょう。それぞれのなかまに関してもここでできるだけ覚えておくと、あとで役に立ちます。

種子以外の増え方をする植物として、ジャガイモ、チューリップ、アジサイを扱います。種イモや球根は種子とは違うこと、挿し木という特殊な方法についても確認しましょう。

国語

● 物語・小説(6)／人の気持ち④

学習内容 ■人の気持ち④

登場人物の気持ちは、必ず「表情・言動・態度」といった反応に表れます。「出来事→気持ち→表情・言動・態度」という因果関係を押さえながら、登場人物の気持ちを「論理的に」読み取りましょう。

● 文を読む②—修飾・被修飾関係を読む／ことわざ①

学習内容 ■修飾・被修飾関係を見抜く
■ことわざを身につける

文節のはたらきのうち、「他の文節をくわしく説明する」ことを「修飾」と言います。「文中で傍線を引かれた文節が、どの文節を修飾しているかを見抜く」というタイプの問題を解けるようにしましょう。

また、『漢字とことば』では、「数を使ったことわざ」を身につけていきます。

算数

● 間の数を考える問題

学習内容 ■まっすぐに植える場合 ～両はしに植えるとき～
■まっすぐに植える場合 ～両はしに植えないとき～
■まるく植える場合
■植木算の利用

植木算では大きく3つのパターンを理解しましょう。①まっすぐに植える場合 ～両はしに植えるとき～②まっすぐに植える場合 ～両はしに植えないとき～③まるく植える場合の3つです。それぞれの場合について、木と間の数の関係を正確に押さえます。また、端から端までの長さを求めたり、池のまわりの長さを求めたりする場合は、間の数×間の長さで計算することになります。つまり、木の本数よりも間の数に注目することができるようになることが重要です。

社会

● 雪の多い地方の暮らし

学習内容 ■越後平野の自然と気候
■雪の中での暮らし(克雪から利雪・親雪へ)

「対馬海流」「季節風」「越後山脈」の関係で、冬に降水量(降雪量)が多くなる理由を学習します。さらに、雪の多いなかでの生活の工夫を昔と今を比べながら理解しましょう。また、雪との戦いではなく、雪に親しみ利用する生活の工夫について考えます。

理科

● 植物のつくりとはたらき

学習内容 ■植物のつくりとはたらき
■植物のつくり
■植物のはたらき

植物のつくりについては、単子葉植物と双子葉植物に分けて根、くき、葉の特徴を確認します。ひげ根と主根・側根、平行脈と網状脈など、違いを明確に押さえておきましょう。単子葉植物にはイネやトウモロコシなどがあり、双子葉植物にはアサガオ、ヘチマなどがあります。根・くき・葉それぞれの役割も重要です。

光合成、呼吸、蒸散については、そのはたらきだけでなく、はたらきを確かめる実験も学習します。特に重要なのがアサガオを使った光合成の実験です。一つひとつの操作が何のために必要なのかを確認し、結果として何がわかるのかを理解しましょう。アルコールやヨウ素液などの薬品を使う目的も重要です。

国語

● 説明文・論説文(5)／形式段落と意味段落②

学習内容 ■形式段落と意味段落②

同じ内容やテーマについて書かれた形式段落のまとまりを「意味段落」と言います。各形式段落の要点を捉えたうえで、前後のつながりを考えて「意味段落」にまとめられるようにしましょう。

● 文を読む③—主語・述語・修飾語の復習／類義語

学習内容 ■主語・述語・修飾語のまとめ
■類義語を身につける

第11・12回で学習した主語・述語・修飾語について、問題演習を中心に、さらなる理解と定着を図ります。

また、『漢字とことば』では、「類義語」を扱います。P.126に紹介されている「覚えておきたい類義語」を身につけていきましょう。

算数

● 周期を考える問題

学習内容 ■周期をとらえる
■図形の周期
■曜日の周期
■数の操作と周期

周期を利用し、特定の場所に並ぶ数や記号を求めたり、特定の場所までに並ぶ数の和を求めたりできるようになることが目標です。記号や数字であれば周期の切れ目を判断することは容易ですが、図形が規則的に並ぶ場合は、周期の切れ目をどこに設定しても、最後には半端な形が残ることに注意が必要です。

また、曜日の計算は苦手とするお子様が多いテーマです。基本的な問題からしっかりと練習を積んでいきましょう。

社会

● 冬に晴れる日の多い地方の暮らし

学習内容 ■高知平野の自然と気候
■高知平野の農業と野菜のゆくえ

「黒潮」「季節風」「四国山地」などの要因で、夏に降水量が多く、冬に晴れる日が多くなる理由について正しく理解しましょう。冬が比較的暖かく、日照時間が長いことなどから農業での特徴(野菜の促成栽培)についても理解する必要があります。また、野菜の出荷についても学習します。

理科

● 身のまわりの空気と水

学習内容 ■空気や水の重さ
■空や水をおし縮める／空気や水の体積と温度
■空気や水のあたたまり方

身近な空気と水について、性質を比べながらまとめます。空気をおし縮めると体積が変化しますが、水はほとんど体積が変化しません。身近な例を考えながら理解していくとよいでしょう。

空気や水をあたためると体積が大きくなりますが、重さは変化しません。この体積の変化も、空気の方が大きく、水は小さいです。この性質の違いを確認する実験については、操作の意味を押さえましょう。

空気や水は、あたたまつた部分が上昇・回転することで全体の温度が上がっていきます。このような熱の伝わり方が対流です。空気や水の動きとあわせて確認しましょう。

国語

● 説明文・論説文(6)／形式段落と意味段落③

学習内容 ■形式段落と意味段落③

文章をいくつかの意味段落にまとめたあとは、文章全体がどのような論理展開で構成されているのかを大きく見渡すことを習慣付けましょう。

● 文を読む④—分けて〈関係〉を考える／対義語

学習内容 ■文を分けて、内容を正確に理解する
■対義語を身につける

第11～13回で学習した「文節」を意識しながら、長い文でも内容に応じていくつかのまとまりに分け、丁寧に理解する練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、「対義語」を扱います。P.136に紹介されている「覚えておきたい対義語」を身につけましょう。

算数

● 等差数列

学習内容 ■等差数列とは？
■等差数列の和
■奇数をならべた数列

□番目の数の求め方、等差数列に並ぶ数の個数の求め方、□番目までの数の和の求め方の3つを理解し、実践できるようにしましょう。公式の丸暗記となってしまうと、数がだんだん小さくなっていく等差数列や図形が絡んだ等差数列でつまづくケースがあります。基本的な問題を中心に、公式の意味を確認しながら順序立てて式をたてることができるようになります。

奇数を並べた場合の等差数列の和に関してはやや発展的な内容になります。□番目の数の求め方、□番目までの数の和の求め方が理解できていれば対処できるので、現段階で無理に定着させる必要はありません。

社会

● 雨の少ない地方の暮らし

学習内容 ■讃岐平野の自然と気候
■讃岐平野の暮らしと農業
■水をもとめて

讃岐平野の降水量が少ない理由や、水不足を解消する工夫の昔(ため池)と今(香川用水)を学習します。また、讃岐名物の「うどん」とかつての「塩づくり(塩田)」、気候の関係まで深く学習していきましょう。

理科

● 金属

学習内容 ■身のまわりの金属
■金属のあたたまり方
■金属の温度と体積

金属の特徴や金属の性質について学習します。1種類だけでできている金、銀、銅、鉄などの金属のほか、2種類以上の金属を混ぜ合わせたニクロムやステンレスなども確認します。

金属のあたたまり方では、物質の中を温度の高い方から低い方へ熱が伝わっていく伝導について学習します。特に銅、アルミニウム、鉄の順に熱が伝わりやすいことは大切な知識です。

金属の温度による体積の変化も重要です。温度による体積変化はアルミニウム、銅、鉄の順に小さくなるので、熱の伝わりやすい順と間違えないように注意が必要です。金属球ばう張試験器による実験のほか、金属棒の長さの変化の実験がよく問われます。実験ごとに、何が起きているのかを確認しましょう。

国語

● 物語・小説(7)／人の性格

学習内容 ■ 人の性格

登場人物の言動や態度から、性格や人柄を読み取れるようになることが目標です。

● 敬語①／外来語

学習内容 ■ 尊敬語・謙譲語・丁寧語
■ 外来語を身につける

敬語については、はじめに尊敬語・謙譲語・丁寧語という3種類の敬語の違いを理解するところから始めましょう。

また、『漢字とことば』で扱う「外来語」は、お子様にとって馴染みのない言葉も多いでしょうから、地道に身につける努力を重ねましょう。

算数

● 約数

学習内容 ■ 約数とは？
■ 公約数と最大公約数
■ 約数の利用

約数や倍数といった数の概念は理解を深めていくのに時間がかかります。『予習シリーズ』では段階を踏んで数の理解を深めていきます。「ある整数を割り切ることができる数を、その数の約数ということから、ある整数を2つの整数の積に分解したとき、その2つの整数が約数であることを理解しましょう。また、「20を割ると2あまる整数」のように、あまりが出る場合、そのあまりを引いた数であれば割り切ることができます。簡単な例をもとにして、少しずつ「約数」の感覚を掴んでいきましょう。

社会

● 盆地の暮らし

学習内容 ■ 甲府盆地の自然と気候
■ 甲府盆地の農業
■ くだものづくりがさかんなところ

山に囲まれた盆地の地形と気候の関係を学習します。降水量が少なく、夏と冬、昼と夜の気温の差が大きいことから、くだものづくりに適していることを確認します。また、盆地でよくみられる扇状地が、特にくだものづくりに適している理由などを理解しましょう。さらに、富士川を例に、日本の河川の特色を覚えていきます。

理科

● 夏の生物

学習内容 ■ 夏になると
■ 夏の植物
■ 夏の動物

夏に咲く多くの草花の特徴やすがた、様子を学習します。特に野原に咲くツクサやエノコログサなどはどのような花なのかをしっかりと押さえておきましょう。畑や花だんでは、ヒマワリ、イネ、トモロコシなどが花を咲かせています。また、初夏を代表するアジサイはよく見かける木です。夏に実をつける植物も確認しましょう。

樹液に集まる昆虫は、昼にやってくるもの(オオムラサキ、カナブンなど)と夜にやってくるもの(カブトムシ、クワガタなど)をしっかりと分けて覚えておきましょう。特に、夏を代表する昆虫であるセミは重要です。夏に見られるいろいろな動物については、生息している場所や特徴を押さえておきましょう。

国語

● 物語・小説(8)／場面展開と心情変化

学習内容 ■ 場面展開と心情変化

ここまでで、文章をいくつかの場面に分け、そのなかで登場人物の気持ちを個々に読み取ることを学習しました。この回では、最終的に文章全体で登場人物の気持ちがどのように揺れ動いたのかを大きく見渡す視点を身につけることが目標です。

● 敬語②／ことわざ②

学習内容 ■ 敬語動詞
■ ことわざを身につける

敬語については、『予習シリーズ』で紹介されている「基本的な敬語動詞一覧表」にある言葉に慣れていくことが大切です。普通語を尊敬語や謙譲語に言い換える訓練を重ねましょう。

また、『漢字とことば』では、「動物に関係する言葉を使ったことわざ」を身につけます。

算数

● 倍数

学習内容 ■ 倍数とは？
■ 公倍数と最小公倍数
■ 倍数の利用

倍数に関する問題では、ある1つの数の倍数に関する問題はそれほどみられません。2つ以上の数に共通する倍数、すなわち公倍数に関する問題が主です。まずは最小公倍数と最大公約数を連除法によって求める方法を理解し実践できるようにします。また、「1から100までで、2でも3でも割り切れる数の個数を求める」など、ベン図を用いた数の集まりに関する問題を扱います。約数同様に感覚的に倍数の意味を捉えられるようになることが目標なので、発展的な問題に取り組む前に、基本問題でしっかりと理解を深めましょう。

社会

● 低い土地の暮らし

学習内容 ■ かつての輪中
■ 現在の輪中

岐阜県海津市を題材に、洪水対策の工夫や歴史について、江戸時代の宝暦治水や明治時代の分流工事などを通して学習します。また、排水ポンプや暗きょ排水の設置による、近郊農業の発展やベッドタウンに変化した海津市の姿についても押さえます。さらには、コンクリートでおおわれた地域の都市型洪水まで理解を深めます。さらに災害の様子を伝える自然災害伝承碑や、災害の被害を予測した地図であるハザードマップを通して、減災や防災の考え方についても触れていきます。

理科

● 星座をつくる星

学習内容 ■ 星座をつくる星
■ いろいろな星座
■ 星座早見

星の明るさは1等星が最も明るく、1等星は6等星の100倍の明るさであること、星の色は表面温度によって決まっていて高い方から順に青白、白、黄色、オレンジ、赤になることが重要です。しっかりと定着を図りましょう。星座では、夏の三大角(はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイル、こと座のベガ)、さそり座(アンタレス)と冬の三大角(オリオン座のベテルギウス、こいぬ座のプロキオン、おおいて座のシリウス)に関する知識を覚えましょう。また、星座早見に関しては、実際に使ってみることが大切です。そのつくりや使い方は、難関校の入試でもたびたび出題されるので、ここでしっかりと覚えておきましょう。

国語

● 説明文・論説文(7)／要旨①

学習内容 ■ 要旨①

説明文・論説文で文章全体を通して筆者が最も伝えたいことを「要旨」と言います。ここまでに身につけた説明文・論説文の読み方を踏まえて、要旨を捉える練習を重ねましょう。

● 文章符号の使い方／特別な読みの言葉

学習内容 ■ 文章符号とその使い方
■ 特別な読み方をする言葉（熟字訓）

文章符号の使い方については、知っているものが大半だとは思いますが、なかには正確なルールを知らずに使っていたものもあるはずです。『予習シリーズ』で紹介されている各符号の「呼び方」と「使い方」を丁寧に確認しましょう。

また、『漢字とことば』では、「特別な読みの言葉（熟字訓）」を扱います。

算数

● 一方におきかえて解く問題

学習内容 ■ つるかめ算(1)
■ つるかめ算(2)

つるかめ算とは、頭の数の合計と足の本数の合計の2種類の合計をもとに、それぞれの内訳を求める手法です。そのような問題を考えるときの第一手は、一方に揃えた場合を仮定してみることです。つるかめ算といえば面積図といったひとつの側面で捉えられがちですが、そもそもつるかめ算の考え方の基礎は、一方に揃えた場合を仮定してみるということです。どういうときにつるかめ算を利用するかを正しく判断できるようにすることで、発展した問題にも対応できるようになります。

社会

● 高い土地のくらし

学習内容 ■ 高原の自然
■ 高原の農業
■ 豊作びんぼう

長野県にある野辺山原の自然を、土地や気候を中心に学習します。夏でも涼しい気候を利用した高冷地農業の工夫について理解することがポイントです。さらに、コールドチェーンや豊作びんぼう、野辺山原以外の高原野菜の産地まで押さえておきましょう。

理科

● 星座の動き

学習内容 ■ 星座の1日の動き
■ 北極星の見つけ方
■ 星座の1年の動き

南の空は1時間で時計回りに15度、北の空は反時計回りに1時間で15度動きます。これは地球が24時間で360度自転しているために起こる見かけの動きです。同様に、同じ時刻に星座を観察すると1か月で30度動いて見えますが、これは地球が太陽の周りを12か月で360度公転しているためです。計算問題が出題されるので、例題や宿題の問題を通して練習しておきましょう。南の空と北の空で回転方向が反対になるのは、観測している人の向きが反対になるからです。どちらの空も、星は東の空から出て西の空に沈む動きをしていることを押さえておきましょう。

北斗七星とカシオペア座を使った北極星の見つけ方は非常に重要です。実際に図を描いて見つけられるようにしましょう。

国語

● 説明文・論説文(8)／要旨②

学習内容 ■ 要旨②

第18回に続けて、「要旨」を読み取る練習を重ねます。「要旨」とそれに至った「根拠」とのつながりを簡潔に捉えることを目指します。

● 原稿用紙の使い方・作文を書く／四季の言葉(春・夏)

学習内容 ■ 原稿用紙の使い方
■ 作文の書き方（文章構成）
■ 春・夏にまつわる言葉

『予習シリーズ』では、原稿用紙の正しい使い方を確認したうえで、作文の書き方のポイントを学び、最終的には与えられたテーマをもとに「百五十文字以上二百字以内」の作文に挑戦します。

また、『漢字とことば』では、春・夏の気象・植物・動物・生活にまつわる言葉を身につけていきます。

算数

● 立方体と直方体の性質

学習内容 ■ 立方体と直方体
■ 立方体の展開図
■ さいころ
■ 立方体を切り開く

立方体や直方体の各種名称を理解すること、展開図を組み立てたときに重なる頂点や辺の位置を求めること、さいころの目の和を求めることなど、学習項目が多岐にわたります。まずは『予習シリーズ』の例題1～3の解法を理解することを優先しましょう。例題4はやや内容が発展的になるので、必ずしも現時点で理解できる必要はありません。

社会

● 海とともにあるくらし

学習内容 ■ 日本の海岸線
■ 砂浜海岸のくらし
■ リアス海岸のくらし

日本の海岸線が長い理由や、海岸の種類（自然海岸や人工海岸）について知ることが第一歩となります。また、九十九里浜を題材に砂浜海岸の特色や周辺のくらしを、三陸海岸を題材にリアス海岸の特色や周辺のくらしを学習します。特に漁業との関係については押さえておきましょう。さらに、津波や干潟まで広く理解しておく必要があります。

理科

● 動物

学習内容 ■ 動物のからだ
■ 動物のえさ
■ 動物の飼い方

さまざまな動物の特徴についてまとめます。背骨のない「無セキツイ動物」には、イカ、貝などの軟体動物や、昆虫、クモなどの節足動物のほか、クラゲやナマコなどがいます。背骨のある「セキツイ動物」には、メダカやマグロなどの魚類、カエルやイモリなどの両生類、ヘビやワニなどのハチュウ類、ペンギンやダチョウなどの鳥類、トラやサルなどの哺乳類がいます。それぞれの特徴を確認しましょう。

また、動物はそのえさにより草食動物と肉食動物と雑食動物に分類されます。どの動物が何を食べているのか、しっかりと確認しておきましょう。

身近な動物では、メダカやカブトムシは家でも飼育できます。えさや環境など、飼育する際の注意点を押さえます。

後期カリキュラム 9月～1月(全19回)

国語		
第1回	物語・小説(9)／人の気持ち⑤	単語の学習① 品詞分類表・名詞／和語①
第2回	物語・小説(10)／人の気持ち⑥	単語の学習② 動詞／慣用句①
第3回	説明文・論説文(9)／話のつながり③	単語の学習③ 形容詞・形容動詞／三字の熟語
第4回	説明文・論説文(10)／話のつながり④	単語の学習④ 副詞・文の基本型／四字の熟語
第5回	総合	
第6回	物語・小説(11)／人の気持ち⑦	文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／和語②
第7回	物語・小説(12)／人物像	文節と文節の関係② 文の組み立て／慣用句②
第8回	説明文・論説文(11)／文章全体の組み立て①	文節と文節の関係③ 〈文図〉で考える／同音異字・同音異義語
第9回	説明文・論説文(12)／文章全体の組み立て②	文節と文節の関係④ 分けて〈関係〉を考える／同訓異字
第10回	総合	
第11回	物語・小説(13)／主題	接続関係① 〈順接〉1／和語③
第12回	物語・小説(14)／人物像と主題	接続関係② 〈順接〉2／ことわざ①
第13回	説明文・論説文(13)／要旨③	接続関係③ 〈逆接〉1／類義語
第14回	説明文・論説文(14)／話題と要旨	接続関係④ 〈逆接〉2／対義語
第15回	総合	
第16回	詩／詩とは何か	接続関係⑤ 〈説明〉／外来語
第17回	物語・小説(15)／総復習	接続関係⑥ 〈並立〉〈添加〉／ことわざ②
第18回	説明文・論説文(15)／総復習	接続関係⑦ 〈選択〉〈転換〉／四季の言葉(秋・冬)
第19回	総合	

	算数	社会	理科
第1回	小数と分数	ふるさとじまん(1) ～北海道・東北地方～	ヒトのからだ
第2回	分配とやりとりの問題	ふるさとじまん(2) ～関東地方～	秋の生物
第3回	円と正多角形	ふるさとじまん(3) ～中部地方～	電気(1)
第4回	立方体と直方体の体積	ふるさとじまん(4) ～近畿地方～	電気(2)
第5回	総合	総合	総合
第6回	割合の表し方	ふるさとじまん(5) ～中国・四国地方～	物の溶け方(1)
第7回	推理して解く問題	ふるさとじまん(6) ～九州地方～	物の溶け方(2)
第8回	多角形の性質	日本の気候と各地の暮らし	流水と地形
第9回	円とおうぎ形	山と川がうみだす地形	ばね
第10回	総合	総合	総合
第11回	角柱と円柱	米づくり ～日本の農業(1)～	月
第12回	一方にそろえて解く問題	畑でつくられるもの ～日本の農業(2)～	いろいろな気体
第13回	速さの表し方	野菜とくだものづくり ～日本の農業(3)～	物の燃え方
第14回	平均	肉や牛乳をつくる ～日本の農業(4)～	音
第15回	総合	総合	総合
第16回	角すいと円すい	よい作物、多くの作物をつくるには? ～日本の農業(5)～	冬の生物
第17回	水量とグラフ	食べ物は日本でつくられる? ～日本の農業(6)～	水溶液の分類
第18回	きまりに注目する問題	森林とともに生きる／日本の森林と林業	棒のつり合い
第19回	総合	総合	総合

※こちらのカリキュラムは予定です。変更になる場合がございます。

第1回

国語

● 物語・小説(9)／人の気持ち⑤

学習内容 ■人の気持ち⑤

「出来事→気持ち→表情・言動・態度」という因果関係を押さえながら、登場人物の気持ちを「論理的に」読み取ることを意識づけます。

● 単語の学習① 品詞分類表・名詞／和語①

学習内容 ■品詞分類表
■名詞(性質・種類／働き)
■和語を身につける

まずは、「文節」「単語」という概念を理解し、10種類の各品詞の性質の違いを知るところからスタートします。そのうえで、この回では「名詞」について学びます。

また、『漢字とことば』では、「和語」を学習します。一覧に紹介されているものを、丁寧に身につけていきましょう。

算数

● 小数と分数

学習内容 ■小数と分数の関係
■3つ以上の分数のかけ算・わり算
■整数・小数・分数の混合計算
■分数の積を整数にする

夏期講習会で学習した小数の乗除、分数の加減乗除の計算を復習するとともに、小数と分数の関係とその変換方法、さらには整数・小数・分数の混合計算を学習します。中学受験で必要な計算手法の総まとめにあたるので、丁寧に式を書き、正確な計算手法を身につけましょう。

社会

● ふるさとじまん(1) ～北海道・東北地方～

学習内容 ■北海道とアイヌの文化を知る
■東北地方6県の特徴を知る

『予習シリーズ』(下巻)の前半では47都道府県の特徴を北から南へ順に学習します。この回は「北海道地方」と「東北地方」を学習します。この2つの地方のポイントは「自然」と「農業」になります。

美しい自然が残るこの地方では「日本三景」や世界自然遺産に登録されている「白神山地」などの重要事項を学習します。さらに「東北三大祭り」などは秋の収穫の前に豊作を祈る行事です。農業と結びつけて覚えるようにしましょう。

宮城県の「松島」とともに京都府の「天橋立」や広島県の「宮島」も含めた「日本三景」を、百万都市については札幌市や仙台市以外にも東京を含めた全国12の百万都市を確認していきます。

「アイヌの人たち」の文化・生活もこの単元の重要な学習事項となります。整理して覚えるようにしましょう。

理科

● ヒトのからだ

学習内容 ■骨と筋肉
■呼吸
■消化
■血液の流れ
■感覚器官

人体の全体像を学習していきます。さまざまな用語が出てきますので、一つひとつの知識のつながりを意識しながら定着させていきましょう。小5でさらに詳しく学習しますので、小4下巻第1回では「ヒトのからだ」の全体像をつかみましょう。

第2回

国語

● 物語・小説(10)／人の気持ち⑥

学習内容 ■人の気持ち⑥

「出来事→気持ち→表情・言動・態度」という因果関係の前提にある「背景」から押さえることで、より深く登場人物の気持ちに迫ることを目指します。

● 単語の学習② 動詞／慣用句①

学習内容 ■動詞(性質／活用／自動詞と他動詞)
■慣用句を身につける

「動詞」については、「言い切りの形が『ウ段音』で終わる」ということを押さえることと、「自動詞・他動詞」について理解することがポイントです。一方で、「活用」のパターンそのものを覚える必要はありません。

また、『漢字とことば』では、「体の一部を表す言葉を使った慣用句」を身につけていきます。

算数

● 分配とやりとりの問題

学習内容 ■分配算(2量の問題)
■分配算(3量以上の問題)
■やりとり算

和と差の条件に加え、一方が他方の〇倍という割合の条件が加わったときの数量を求める問題を学習します。和差算の学習と同様に、まずは線分図の描き方を理解し、数量を求める手順を理解しましょう。小5の夏に学習する「比」の初歩にあたる重要なテーマです。

社会

● ふるさとじまん(2) ～関東地方～

学習内容 ■関東地方の1都6県の特徴を知る
■利根川と流域の様子を知る

「首都東京」を抱える関東地方では「人口」や「交通機関」などがポイントになります。

首都東京や人口400万人近くを抱える横浜市、埼玉県や千葉県などのベッドタウンについてや、交通では「横浜港」や「成田国際空港」、「東京湾アクアライン」などの重要事項を学習します。

茨城県水戸市の「偕楽園」とともに金沢市の「兼六園」、岡山市の「後楽園」を含めた「日本三名園」を確認します。

また、自然では北関東の「からっ風」を学習し、それに対する「屋敷森」とは何か、さらに流域面積日本一の「利根川」を押さえていきます。利根川の学習では意外と間違えやすい「流域面積」の意味まで理解することが重要です。

理科

● 秋の生物

学習内容 ■秋になると
■秋の植物
■草木の実や種子の散らばり方
■昆虫
■いろいろな動物

秋に見ることができる植物と動物を詳しく学習します。多くの生物名が出てきますので、その一つひとつを図や写真で確認していくことが重要です。生態や体の構造など、不明点がある場合は図鑑などで調べていくとよいでしょう。

国語

● 説明文・論説文(9)／話のつながり③

学習内容 ■話のつながり③

「接続語」に着目しながら文章を読み進めることを意識づけます。この回では中でも「説明(例示・理由・換言・補足)」の接続語に注目します。

● 単語の学習③ 形容詞・形容動詞／三字の熟語

学習内容 ■形容詞・形容動詞(性質／活用)
■三字熟語を身につける

「形容詞」については「言い切りの形が『い』で終わる」こと、「形容動詞」については「言い切りの形が『だ』で終わる」ことを身につけ、他の品詞と見分けられるようにすることを目指します。

また、『漢字とことば』では、さまざまな「三字熟語」を時間をかけて覚えていきましょう。

算数

● 円と正多角形

学習内容 ■円の性質
■円と角
■円と正多角形

円の性質と円の内部にできる多角形の角度を求める問題を学習します。円や今後学習するおうぎ形の求積問題は、入試でよく見られる問題の一つです。円やおうぎ形の問題を見たら、「円の中心をとり、円周上の交点と結ぶ」のが定石です。解法の手順を理解し、実践できるようにしましょう。また、円の内部にできる正多角形の角度を求める問題も学習します。これも円の中心と円周上の交点を結び、二等辺三角形を作ることが重要です。

社会

● ふるさとじまん(3) ～中部地方～

学習内容 ■中部地方9県の特徴を知る
■世界遺産「合掌造り」を知る

中部地方で学習する県は9つもあるほか、さらに太平洋側、中央高地、日本海側と特色の異なる地域を学習することから「ふるさとじまん」の大きな山場となる単元です。

小4の学習では「自然」や「農業」が学習内容の中心になりますが、「日本一の工業県」の愛知県では豊田市の自動車工業についても触れます。また、福井県の若狭湾は「原発銀座」といわれ、この単元では「原子力発電」についても確認します。

中央高地では「日本アルプス」や「五箇山・白川郷の合掌造り」についても学習します。特に「合掌造り」では単に建築様式の特徴だけではなく集落の暮らしについても扱います。

理科

● 電気(1)

学習内容 ■電気を通すもの・通さないもの
■電気をを使うもの
■電気をつくり出すもの
■豆電球をつけよう
■検流計

第3回と第4回の2回に分けて電気をじっくりと学習していきます。第3回では知識事項を中心に確認していくことになります。上記学習内容のうち、「電気をを使うもの」、「豆電球をつけよう」は特に重要です。しっかりと理解しましょう。

国語

● 説明文・論説文(10)／話のつながり④

学習内容 ■話のつながり④

「指示語」について取り上げます。一貫した手順に則って、指示内容を的確に捉えられることを目指します。

● 単語の学習④ 副詞・文の基本型／四字の熟語

学習内容 ■副詞(性質／種類／呼応の副詞／擬声語・擬態語)
■文の基本型
■四字熟語を身につける

「副詞」については「呼応の副詞」の言い回しを身につけていくことがメインです。一方で「文の基本型」については、3種類のパターンを正確に見分けられることを目指しましょう。

また、『漢字とことば』で学習する「四字熟語」では、一覧化されている「覚えておきたい四字熟語」を地道に身につけましょう。

算数

● 立方体と直方体の体積

学習内容 ■立方体と直方体の体積
■立方体と直方体の表面積
■複合立体

立方体や直方体、またそれらを組み合わせてできる立体の体積や表面積の求め方を学習します。複合立体の体積を求める際は、大きな直方体から引く、立体を切り分けるといった方法があります。また、表面積は、正面、真上、横から見たときの面積の合計を2倍する(反対側から見たときの面積も同じため)ことで求めることができます。解法の手順を理解し、自ら実践できるようにしましょう。

社会

● ふるさとじまん(4) ～近畿地方～

学習内容 ■近畿地方2府5県の特徴を知る
■琵琶湖と琵琶湖の役割を知る

長い間都が置かれていた地域であったことから、歴史に関する内容も豊富です。京都市の道が東西南北にまっすぐのびている理由を歴史にからめて考えます。また、世界遺産についても確認しましょう(近畿地方では全ての府県に世界遺産があります)。

1995年に起きた「阪神・淡路大震災」もこの単元で学習します。地震の多い日本では重要な学習事項となります。

紀伊半島では森林、志摩半島ではリアス海岸で豊かな真珠の養殖など、林業や水産業についても触れていきます。

琵琶湖については、淀川が流れている周りの府県で使われる琵琶湖の水や外来魚などさまざまな角度から考えていきます。

理科

● 電気(2)

学習内容 ■回路図のかき方
■かん電池のつなぎ方
■豆電球のつなぎ方
■いろいろなつなぎ方

豆電球を用いた回路について学習していきます。9つの基本的な回路をしっかりと理解することが大切です。表にまとまっているページがありますので、比べながら一つひとつの回路の違いを意識して理解していきましょう。

国語

● 物語・小説(11)／人の気持ち⑦

学習内容 ■人の気持ち⑦

登場人物の「変化」を読み取ることがテーマです。特に、作品の中で登場人物を大きく変えるきっかけとなった「他者の言葉や行動」「大きな意味を持つ出来事や事件」に着目することを学びます。

● 文節と文節の関係① 主語・述語・修飾語／和語②

学習内容 ■主語・述語関係を見抜く
■修飾・被修飾関係を見抜く
■和語を身につける

一貫した手順に則って、文中の「主語・述語」や「修飾語・被修飾語」を正確に捉える練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、第1回に続けてさまざまな「和語」を身につけていきましょう。

算数

● 割合の表し方

学習内容 ■「倍」の求め方と意味
■割合の3用法

①AがBの何倍であるか、②AのB倍はいくつであるか、③A倍した結果Bになるとき、もとの量はいくつであるか、これらを「割合の3用法」といいます。

解き方を公式として覚えるだけでは、条件が複雑な文章題に対応するのは困難です。慣れるまでは、数直線や線分図に整理してイメージをつかみ、その上で計算式を立てることができるようにしましょう。

社会

● ふるさとじまん(5) ～中国・四国地方～

学習内容 ■中国地方・四国地方9県の特徴を知る
■原子爆弾が投下された広島市について知る

この単元では中部地方と同様に「日本海側」「瀬戸内」「太平洋側」の3つの地域に分け、特色が異なる9つの県を学習します。本州と四国の間には3つのルートがありますが、そのうち瀬戸内しまなみ海道は島と島の間に橋をかけて広島県と愛媛県を結ぶもので、橋は自動車だけでなく歩行者や自転車も通ることができます。

中国山地や四国山地を通して過疎の問題にも学習範囲を広げましょう。

広島市の学習では「核兵器や放射性物質の恐ろしさ」や広島市の復興、そして平和に向けての活動などさまざまな角度から学習します。

理科

● 物の溶け方(1)

学習内容 ■水に溶ける物
■溶ける限量を決めるもの

第6回と第7回の2回に分けて、物の溶け方についてじっくりと学習していきます。第6回は「物が溶けるとはどういうことか」、「水溶液中の溶質のようすはどうなっているか」など、非常に重要な内容を含みます。第7回でさらに発展的な内容を学習しますので、原理をしっかり理解していきましょう。

国語

● 物語・小説(12)／人物像

学習内容 ■人物像

登場人物の言動や態度から、その人物の「性格・人柄」はもちろん、「生き方・価値観」というレベルにまで迫ることを目指します。

● 文節と文節の関係② 文の組み立て／慣用句②

学習内容 ■主語・述語関係
■単文・重文・複文
■慣用句を身につける

第6回に続けて「主語・述語」を正確に捉える練習を重ねた後は、「主語・述語」の関係に応じて、文を「単文・重文・複文」に分けるという視点を学びます。

また、『漢字とことば』では、「人の気持ちや様子をたとえる言葉を使った慣用句」を身につけていきます。

算数

● 推理して解く問題

学習内容 ■数の推理
■勝敗や順位の推理

覆面算や魔法陣のような数の推理に関する問題と、勝敗・順位の推理に関する問題を学習します。条件を頭の中で整理していくのは困難です。授業内では勝敗を求めるときや順位を求めるときなど、状況に応じた条件整理の方法を説明します。問題ごとに効果的な手段を自ら選択し、実践できるようにすることが目標です。

社会

● ふるさとじまん(6) ～九州地方～

学習内容 ■九州地方8県の特徴を知る
■日本の4つの大きな島どうしを結ぶトンネルや橋について知る

桜島や阿蘇山・雲仙岳など、火山の多い九州を「カルデラ」「温泉」「シラス」「地熱発電」など火山とも関係の深いことにも触れながら確認していきます。

世界自然遺産に登録されている屋久島については、知名度の高い「縄文すぎ」だけでなく「ひと月に35日雨が降る」といわれるほど降水量が多い理由を島の地形や周囲の海を流れる海流から理解できるようにしましょう。

本州と九州を隔てる関門海峡には、橋と複数のトンネルがあり、対岸への行き来が可能です。

沖縄県の学習では南国の自然と農業や観光業にとどまらずにアメリカ軍基地の問題まで学習範囲を広げましょう。

理科

● 物の溶け方(2)

学習内容 ■水を蒸発させて溶けている物を取り出す
■温度を下げた溶けている物を取り出す
■結晶

第6回の続きとなる内容です。入試でよく出題される内容を多く含みます。また、基本的な計算問題にもチャレンジします。小5以降に学習するさらに発展的な計算問題に対応できるよう、確実な理解を目指しましょう。

国語

● 説明文・論説文(11)／文章全体の組み立て①

学習内容 ■ 文章全体の組み立て①

形式段落ごとの要点を捉え、意味段落にまとめていく練習を重ねます。

● 文節と文節の関係③ 〈文図〉で考える／同音異字・同音異義語

学習内容 ■ 文節間の関係を〈文図〉に整理する
■ 同音異字・同音異義語を身につける

ここまでで学習した「主語・述語・修飾語」という文節の働きについて、各文節を〈文図〉の形で整理する練習を重ねます。

また、『漢字とことば』で学習する「同音異字・同音異義語」については、単に字面を覚えるだけでなく、どの文脈の際にどの字を使うのかを見分けられるようにすることが大切です。

算数

● 多角形の性質

学習内容 ■ 多角形の対角線の本数
■ 多角形の内角と外角
■ 面積の求め方のくふう

第3回で学習した正多角形から発展し、多角形の内角・外角の和、対角線の本数の求め方を学習します。さまざまな公式を学習することになりますが、しっかりとその公式の意味を理解するようにしましょう。また、三角形の面積については、面積が求めやすいように形をかえて求める方法(等積変形)や、三角定規型の直角三角形の性質を利用した求積など、学習内容が多岐にわたります。重要度の高い要素ばかりなので、基本問題を中心に学習し理解を深めましょう。

社会

● 日本の気候と各地のくらし

学習内容 ■ 気候区分と自然災害を知る
■ 自然(地形など)と気候の関係を知る

日本の気候をおおまかに「太平洋側」「日本海側」「瀬戸内」「北海道」「南西諸島」「中央高地」の6つに分けて学習します。単にそれぞれ気候の特色を知るばかりではなく「雨温図(グラフ)」の見分け方(気温を表す折れ線グラフと降水量を表すグラフの形や数値などを比べる)まで確認していきます。これらの学習は今後の地理の学習を進めるうえで重要な内容となります。

気候と関連する「自然災害」や「台風」の進路、および近年問題となっている「熱中症」「ヒートアイランド現象」についても考えます。

理科

● 流水と地形

学習内容 ■ 川がつくる地形
■ 海に積もる土砂
■ 地層からわかること

地形や化石となる生物など、多くの事項を学習します。地形に関しては図と関連させながら覚えていくことが大切です。また、それぞれの地形の違いを押さえましょう。化石に関しては、堆積当時の環境やその生物が生息していた時代の違いをしっかりとおさえましょう。

国語

● 説明文・論説文(12)／文章全体の組み立て②

学習内容 ■ 文章全体の組み立て②

文章全体の中で各意味段落がどのような役割を果たしているのかを捉え、最終的に文章全体の構造をつかむことを目指します。

● 文節と文節の関係④ 分けて〈関係〉を考える／同訓異字

学習内容 ■ 文を分けて、内容を正確に理解する
■ 同訓異字を身につける

第6～8回で学習した「文節」を意識しながら、長い文でも内容に応じていくつかのまとまりに分け、丁寧に理解する練習を重ねます。

また、『漢字とことば』で学習する「同訓異字」は、同音異字・同音異義語と同様に、漢字そのものだけでなく、文脈にふさわしい字を使い分けられるようにする必要があります。

算数

● 円とおうぎ形

学習内容 ■ 円周の長さ
■ 円の面積
■ おうぎ形
■ 移動範囲

円とおうぎ形の面積や周の長さの求め方を学習します。円周率(3.14)を用いた計算を多用するので、計算を効率よく行うことがとても重要です。『予習シリーズ』の基本問題にも載っていますが、3.14の計算をする前に、できる限り計算式を整理し、効率よく計算する方法を身につけましょう。 $1 \times 3.14 \sim 9 \times 3.14$ の値は瞬時に答えられるようにしておきたいものです。

社会

● 山と川がうみだす地形

学習内容 ■ 日本の地形(おもに山と川に関係のあるもの)を知る
■ 地震と地震のときに起こりやすい災害について考える

「山」と「川」によって生み出された地形と、火山や地震に関して学習します。日本の平野は河川が運んできた土砂が堆積してできたものが多いので、平野や盆地は流れている河川とともに名前を覚えると効果的です。日本には110を超える活火山があり、火山は恵みをもたらすと同時に被害をもたらします。4つのプレートがひしめく日本では地震がひんぱんに起こるので、地震によって二次的に引き起こされる災害についても触れていきます。

理科

● ばね

学習内容 ■ 物にはたらく力
■ ばねののび
■ ばねの長さ
■ いろいろなばね

物にはたらく力を考える際は、その大きさと向きを理解することが大切です。計算問題にもチャレンジしますが、まさにこの部分の理解が試されます。計算問題で要求される手法はそれほど多くはありませんので、宿題等で数値替えにあたる問題を複数問解き、しっかりと定着させていきましょう。

国語

● 物語・小説(13)／主題

学習内容 ■ 主題

作品の山場(クライマックス)から、文章全体を通じて作者が最も訴えたいこと＝「主題」を読み取る練習を重ねます。

● 接続関係① 〈順接〉1／和語③

学習内容 ■ 7つの接続関係を知る
■ 順接というつながりを理解する
■ 和語を身につける

まずは「順接」「逆接」「並立(並列)」「添加(累加)」「説明」「選択」「転換」という7種類の接続関係について理解しましょう。そのうえで今回は「順接」について重点的に扱います。

また、『漢字とことば』では、第1回・第6回に続けてさまざまな「和語」を身につけていきましょう。

算数

● 角柱と円柱

学習内容 ■ 角柱・円柱の性質
■ 角柱・円柱の体積と表面積

4年下の前半で学習した平面図形、立体図形の複合テーマとなります。角柱では、表面積の求め方を理解し、実践できるようにすることが目標です。角柱の側面は展開することで長方形になることから、「底面の周の長さ×高さ」で求めることができます。また、円柱の体積、表面積では第9回に引き続き円周率の計算を伴うため、計算式を整理して効率よく求積できるようにしましょう。

社会

● 米づくり ～日本の農業(1)～

学習内容 ■ 米の産地を知る
■ 稲作の流れを知る

『予習シリーズ』(下巻)第11回より「産業別地理」の学習に入ります。4年生では「農業」と「林業」について学習します。この回では農業の初回として「稲作」について学習します。

稲作を「米どころとおもな米の品種」「米づくりの流れと機械化」「米の生産量と消費量の変化」「米の輸入」に分けて学習します。

米の産地の学習では温暖多雨を好む稲の栽培が東北・北陸・北海道で多いことを「品種改良」や「夏の気温」などと結びつけて確認します。

米づくりの流れでは季節ごとの作業と農業用機械、それぞれの作業の意味について理解していきます。さらに「水田のはたらきと棚田の重要性」についても触れていきます。

理科

● 月

学習内容 ■ 月のようす
■ 月の満ち欠け
■ 月が満ち欠けする理由
■ 月の動き

月の満ち欠けなど、図を描きながら考えることが大切です。天体は苦手にする受験生が多いため、不明点を残さないことが重要です。わからない内容が出た場合はどんどん質問しましょう。また、簡単な実験が紹介されているページがあります。月の見え方を理解するのにもってこいの実験なので、ぜひご家庭でやってみてください。

国語

● 物語・小説(14)／人物像と主題

学習内容 ■ 人物像と主題

登場人物の人物像から作品中での役割を考え、特に重要な人物の言動・態度から作品の「主題」に迫ることを学びます。

● 接続関係② 〈順接〉2／ことわざ①

学習内容 ■ 順接というつながりを理解する
■ ことわざを身につける

第11回に続けて「順接」について学習します。文中での接続関係だけでなく、文章の中での内容的なつながりについても読み取っていきます。

また、『漢字とことば』では、「ことわざ」を扱います。一覧化されたものは基本的なことわざばかりですので、一つひとつ地道に覚えていきましょう。

算数

● 一方にそろえて解く問題

学習内容 ■ 加減法
■ 代入法
■ 3量以上の消去算

消去算とは、連立方程式にあたります。数量を求める方法は大きく加減法、代入法の2つがあります。不明な数量のうち、一方を公倍数で揃えて消去する加減法と、一方の数量を他方の数量に置き換えて解く代入法の2つです。小学生にとってハードルとなるのは、この計算方法というよりは、むしろその前提となる式を立てる点にあります。不明な数量を文字や記号で置き、問題文の通りに等式をつくるという解法自体に馴染みがありません。よって、基本問題を通じて式を立てる練習を積みましょう。

社会

● 畑でつくられるもの ～日本の農業(2)～

学習内容 ■ 穀類・いも類の特色を知る
■ 工芸作物を知る

畑作物のうち「米以外の穀物」「いも類」「工芸作物」について学習します。「米以外の穀物」とは「小麦」「大豆」「とうもろこし」などのことです。これらの作物の自給率や国内の生産地、輸入相手国などを確認します。特に大豆では、味噌や醤油、とうふ以外についても大豆からつくられる食品として油やもやし・枝豆などにも触れていきます。

「いも類」では「じゃがいも」と「さつまいも」を学習します。戦時中など、食料が手に入りにくかったときにはやせた大地でも育つさつまいもが人々を飢えから救いました。

「工芸作物」では「食品に加工されるもの」と「食品以外に加工されるもの」に分け、特色や産地などを確認していきます。特に「茶」については「緑茶」「ウーロン茶」「紅茶」の関係(茶葉の発酵の違い)や茶畑、防霜ファンなど「茶」のつくり方についても学習範囲を広げます。

理科

● いろいろな気体

学習内容 ■ 空気をつくる気体
■ 酸素のつくり方と集め方
■ 二酸化炭素のつくり方と集め方

窒素、酸素、二酸化炭素などの気体の性質をまずは理解しましょう。また、酸素と二酸化炭素の製法はさまざまな物質名が出てくるので混乱するかもしれません。紙に書きながら覚えるとういでしょう。

国語

● 説明文・論説文(13)／要旨③

学習内容 ■ 要旨③

本文の結論が述べられている意味段落に着目し、文章全体を通じて筆者が最も訴えたいこと＝「要旨」を捉える練習を重ねます。

● 接続関係③ 〈逆接〉1／類義語

学習内容 ■ 逆接というつなが方を理解する
■ 類義語を身につける

今回は「逆接」について重点的に学習します。まずは逆接の接続語を知るとともに、逆接の接続語に着目して、文中の空欄に続く内容を考えるという練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では、「類義語」を学習します。上巻で扱ったものに比べると語彙のレベルが上がっているので、意味と一緒に身につけていこうにしましょう。

算数

● 速さの表し方

学習内容 ■ 速さの表し方
■ 速さの文章題

速さ・時間・道のりの求め方を学習します。速さの問題を公式として覚えると、割合の問題と同様に条件が複雑な文章題に対応するのは困難です。例えば、500mの道のりを10分で歩く速さであれば、 $500 \div 10$ の計算を思い浮かべるのは容易でしょう。簡単な具体例をもとに、それぞれの求め方を自然と思い浮かべることができるようになることが目標です。

また単位を揃えて計算することも重要な考え方になり、今回のテーマでは最も定着に時間がかかります。

社会

● 野菜とくだものづくり ～日本の農業(3)～

学習内容 ■ 野菜づくりを知る
■ くだものづくりを知る

畑作物のうち「野菜」と「くだもの」を学習します。

「野菜」の学習では促成栽培のさかんな高知平野や宮崎平野などの地域、高冷地農業がさかんな野辺山原や嬬恋村などの地域、近郊農業がさかんな千葉県や茨城県などの地域を押さえておきましょう。また、主な野菜や、くだもの産地を都道府県別に見ていきます。「野菜」ではキャベツを例に季節によって産地が変わっていくことについて触れます。

「くだもの」の学習では「みかん」「りんご」「日本なし」「ぶどう」「もも」についてそれぞれのくだもの特色を理解しながらお主な産地を学んでいきます。また、海岸線に広がる「段々畑」の3つの太陽についても重要です。

理科

● 物の燃え方

学習内容 ■ 空気と燃え方
■ 燃焼による空気の変化
■ ろうそくの燃え方

ろうそくを燃やし続けるための工夫や、ろうそくの燃焼前後での変化をまずは押さえましょう。また、ろうそくの外炎・内炎・炎心の違いを理解しましょう。用語とともに、それぞれどのような特徴があるのかを押さえていきましょう。

国語

● 説明文・論説文(14)／話題と要旨

学習内容 ■ 話題と要旨

本文を一読した後に、「どのような「話題」に対して、どのような「要旨(結論)」を述べているのか」という文章の中心が捉えられている状態を目指します。

● 接続関係④ 〈逆接〉2／対義語

学習内容 ■ 逆接というつなが方を理解する
■ 対義語を身につける

第13回に続けて「逆接」について学習します。今回は、接続助詞を中心に扱い、前後が逆接の関係にあるかどうかを見抜く練習を重ねます。また、文中での接続関係だけでなく、最終的には文章の中での内容的なつながりについても読み取っていきます。

また、『漢字とことば』では、「対義語」を学習します。

算数

● 平均

学習内容 ■ 平均と合計
■ 平均の面積図

平均の意味自体は4年上で学習していますが、「平均＝合計÷個数、合計＝平均×個数」という基礎概念に加え、加重平均に関する問題を学習します。平均という言葉通り、面積図を用いて平らに均(なら)すという手段が有効な解法となります。まずは、面積図を自ら描くことができるようにすること、また、面積図の利用の仕方を理解しましょう。

社会

● 肉や牛乳をつくる ～日本の農業(4)～

学習内容 ■ 日本の畜産を知る
■ 食の安全を考える

畜産について学習します。

主な家畜を「乳牛」「肉牛」「ぶた」「肉用若鶏」「採卵鶏」に分けて、それぞれの家畜の特徴と飼育のさかんな地域を確認しましょう。乳牛は暑さに弱いため、緯度の高い地域や標高が高いすずしい気候のところで飼育されているなど、家畜の特徴と結び付けて畜産がさかんな地域を覚えることが大切です。

畜産が抱える問題を「飼料の輸入」「肉の輸入」そして「畜産農家の減少」に分けて見ていきます。飼料を輸入しているため自給率は高いとはいえないことを理解しましょう。また、各地の「ブランド牛」も確認します。個体識別番号を調べることで飼育されていた場所などを知るトレーサビリティについても触れます。

理科

● 音

学習内容 ■ 音としん動
■ 音の伝わり方
■ 音の性質

物理で学習するものは目に見えないものが多く、理解するのに苦戦するお子様がたくさんいます。わからないところは『予習シリーズ』を何度も読み返しましょう。また、『予習シリーズ』で紹介されている内容には、実際に確かめることができるものが多くあります。自分ができそうな実験があれば身近なものをういてやってみましょう。

国語

● 詩／詩とは何か

学習内容 ■ 詩とは何か

一つひとつの言葉・表現を丁寧に吟味し、そのわずかな言葉や短い表現に込められた作者の思いを引き出す練習を重ねます。

● 接続関係⑤ 〈説明〉／外来語

学習内容 ■ 説明というつなぎ方を理解する
■ 外来語を身につける

「説明」というつなぎ方には、さらに細かく見ると「例示」「換言」「理由」「補足」という4つの種類があります。これらのつなぎ方について理解するとともに、具体的な接続語の例を身につけましょう。

また、『漢字とことば』で扱う「外来語」は、お子様にとって馴染みのない言葉も多いでしょうから、意味を確認しつつ地道に覚えていく努力を重ねましょう。

算数

● 角すいと円すい

学習内容 ■ 角すい
■ 円すい
■ 回転体

角すいや円すいの求積に関して学習します。円すいに関しては重要な公式があります。円すいを展開したときの側面のおうぎ形に関する公式は、その成り立ちも含めてしっかりと理解しておきましょう。また、平面図形を、直線を軸に1回転させてできる回転体の求積についても学習します。入試では頻出のテーマになります。回転させてできる図形を自ら図で表すことができるようにしましょう。

社会

● よい作物、多くの作物をつくるには？
～日本の農業(5)～

学習内容 ■ 耕地の開発や改良について知る
■ 生産を高める工夫や安全な農作物をつくる
取り組みを知る

これまではおもに農作物とその産地を中心に学習してきましたが、ここでは生産量を増やしたり、農作業をより効率よく行ったりするための工夫について学習します。三大干拓地と呼ばれる八郎潟、児島湾、有明海、香川用水や愛知用水などのおもな用水路、機械化、データの活用、耕地の有効利用など幅広い内容を扱います。

この単元ではさらに安心安全な農作物をつくる取り組みや「循環型農業」「水耕栽培」のことも知っておきましょう。

理科

● 冬の生物

学習内容 ■ 冬になると
■ 花をさかせる植物
■ 植物の冬越しのすがた
■ 昆虫
■ いろいろな動物

植物についてはヤツデやサザンカなど冬に花を咲かせる植物のほか、さまざまな植物の冬越しのすがたの違いを押さえましょう。また、昆虫の冬越しのすがたは入試でよく出る内容です。表に整理しながら覚えていくのがよいでしょう。

国語

● 物語・小説(15)／総復習

学習内容 ■ 物語・小説の総復習

「場面」「気持ち」「人物像」「場面展開・心情変化」「主題」といった、ここまでに学習してきた物語・小説の「読み方」をまとめ、自分なりの読み方の確立を目指します。

● 接続関係⑥ 〈並立〉〈添加〉／ことわざ②

学習内容 ■ 並立というつなぎ方を理解する
■ 添加というつなぎ方を理解する
■ ことわざを身につける

今回は「並立」「添加」という似たようなつなぎ方について学習します。それぞれの代表的な接続語を知るとともに、文中でのつなぎ方を見抜く練習を重ねます。

また、『漢字とことば』では「ことわざ」を扱います。

算数

● 水量とグラフ

学習内容 ■ 水量と水の深さ
■ 水量の変化とグラフ
■ 水深の変化とグラフ

角柱や円柱の容器に水を注いだときの水量や水の深さを求める問題を学習します。また、水を一定の割合で注いだときの水量や水深の関係を表すグラフの読み取りについて学習します。グラフの読み取り方は今回が初めての学習となるので、グラフのたて軸、横軸の意味や、グラフの傾きが示す意味をしっかりと理解しましょう。

社会

● 食べ物は日本でつくられる？～日本の農業(6)～

学習内容 ■ 日本の食料自給率(全体、品目的)を知る
■ 日本の農業が直面している課題と農業の将来について考える

日本の農業を「食料輸入の増加と自給率の低下」「減少する耕地と農家と進む高齢化」「これからの農業が目指すべき方向性」について考えます。

食料自給率についてはアメリカ・イギリス・フランスと比べることで日本の自給率がいかに低いかわかることができます。

耕地や農業で働いている人の減少をグラフや表を通して数値から分析します。一方で、農業を続けることが難しくなった農家から耕地を借りて、より大規模に農業を行う農家もあります。

経営規模を拡大する以外に農業を専門に行う農家や生産・加工・販売までを農家自身が行う取り組みも重要です。

理科

● 水溶液の分類

学習内容 ■ 溶けている物の状態で分ける
■ においの有無で分ける
■ 水溶液の性質によって分ける
■ 水溶液の分類のまとめ

さまざまな水溶液を、液性、溶質の状態、においの有無などで分類していきます。定着させる内容が多く非常に大変な回です。水溶液の分類のまとめのページにあるように、表に整理しながら定着させていくとよいでしょう。

国語

● 説明文・論説文(15)／総復習

学習内容 ■ 説明文・論説文の総復習

「話題」「要点」「段落関係」「要旨」といった、ここまで学習してきた説明文・論説文の「読み方」をまとめ、自分なりの読み方の確立を目指します。

● 接続関係⑦ 〈選択〉〈転換〉／四季の言葉(秋・冬)

学習内容 ■ 選択というつながりを理解する
■ 転換というつながりを理解する
■ 秋・冬にまつわる言葉

今回は「選択」「転換」というつながりをまとめて扱います。特に「転換」は、文章の分かれ目に関わる大事なつながり方です。

また、『漢字とことば』では、秋・冬の気象・植物・動物・生活にまつわる言葉を身につけていきます。

算数

● きまりに注目する問題

学習内容 ■ 等差数列の利用
■ 循環小数 ～周期の利用～

4年上で学習した周期算や等差数列の発展問題を学習します。図形が規則的に増える問題では、表に整理して規則を発見するのが有効です。表をかいて規則を見つけ、答えを求めるために必要な式を立てることができるようにしましょう。また、□番目の数を求める際に、□を用いた式のかたちで表す(一般化する)方法も有効な解法となります。

社会

● 森林とともに生きる／日本の森林と林業

学習内容 ■ 森林のはたらきや日本の代表的な森林について知る
■ 林業の仕事について知る

日本の森林について「森林の種類」「森林のはたらき」「林業」「見直される森林」などを中心に学習します。

日本は国土の約3分の2を森林が占める緑豊かな国で、特に三大美林(天然と人工が3か所ずつで計6か所)や世界遺産に登録されているところが重要です。

また、林業の仕事については木を育てる仕事の流れを学習し、「枝打ち」や「間伐」を行う意味を理解していきます。さらに、林業で働く人の高齢化と後継者の不足、そして国産の木材の自給率の上昇などの林業の現状についても考えてみましょう。

理科

● 棒のつり合い

学習内容 ■ 重さをはかるもの
■ てこ実験器のつり合い
■ 棒のつり合いの計算

計算問題をたくさん扱います。左右のつり合いに関して、慣れるまでは丁寧に式を書いて解いていきましょう。また、上皿てんびんについても学習します。入試でよく出る実験器具の1つなので、実験の手順や実験上の注意点など、しっかりと押さえましょう。

授業カレンダー [前期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
2/1 (日)							
2/2 (月)							
2/3 (火)							
2/4 (水)							
2/5 (木)							
2/6 (金)							
2/7 (土)							
2/8 (日)							
2/9 (月)	○						
2/10 (火)	○		上②				
2/11 (水)	○			上②			
2/12 (木)	○				上②		
2/13 (金)	○					上②	
2/14 (土)							
2/15 (日)							
2/16 (月)	○						
2/17 (火)	○		上③				
2/18 (水)	○			上③			
2/19 (木)	○				上③		
2/20 (金)	○					上③	
2/21 (土)		カリキュラムテスト①②					
2/22 (日)							
2/23 (月)	○						
2/24 (火)	○		上④				
2/25 (水)	○			上④			
2/26 (木)	○				上④		
2/27 (金)	○					上④	
2/28 (土)							

●小4「予習シリーズ」上巻第1回の授業は、小3の1月最終週に実施します。
●小4初回授業:2/10(火)・2/11(水)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
3/1 (日)							
3/2 (月)	○						
3/3 (火)	○		上⑤				
3/4 (水)	○			上⑤			
3/5 (木)	○				上⑤		
3/6 (金)	○					上⑤	
3/7 (土)		カリキュラムテスト③④					
3/8 (日)							
3/9 (月)	○						
3/10 (火)	○		上⑥				
3/11 (水)	○			上⑥			
3/12 (木)	○				上⑥		
3/13 (金)	○					上⑥	
3/14 (土)		組分けテスト⑤					
3/15 (日)							
3/16 (月)	○						
3/17 (火)	○		上⑦				
3/18 (水)	○			上⑦			
3/19 (木)	○				上⑦		
3/20 (金)	○					上⑦	
3/21 (土)							
3/22 (日)							
3/23 (月)							
3/24 (火)							
3/25 (水)							
3/26 (木)	講	春期講習会期間					
3/27 (金)	講						
3/28 (土)	講						
3/29 (日)	講						
3/30 (月)	講						
3/31 (火)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
4/1 (水)		春期講習会期間					
4/2 (木)	講						
4/3 (金)	講						
4/4 (土)							
4/5 (日)							
4/6 (月)							
4/7 (火)							
4/8 (水)	○			上⑧			
4/9 (木)	○				上⑧		
4/10 (金)	○					上⑧	
4/11 (土)		カリキュラムテスト⑥⑦					
4/12 (日)							
4/13 (月)	○						
4/14 (火)	○		上⑧				
4/15 (水)	○			上⑨			
4/16 (木)	○				上⑨		
4/17 (金)	○					上⑨	
4/18 (土)							
4/19 (日)							
4/20 (月)	○						
4/21 (火)	○		上⑨				
4/22 (水)	○			上⑩			
4/23 (木)	○				上⑩		
4/24 (金)	○					上⑩	
4/25 (土)		カリキュラムテスト⑧⑨					
4/26 (日)							
4/27 (月)	○						
4/28 (火)	○		上⑩				
4/29 (水)							
4/30 (木)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●4月初回授業:4/8(水)・4/9(木)
※校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
5/1 (金)							
5/2 (土)							
5/3 (日)							
5/4 (月)							
5/5 (火)							
5/6 (水)							
5/7 (木)	○				上⑪		
5/8 (金)	○					上⑪	
5/9 (土)		組分けテスト⑩					
5/10 (日)							
5/11 (月)	○						
5/12 (火)	○		上⑪				
5/13 (水)	○			上⑪			
5/14 (木)	○				上⑫		
5/15 (金)	○					上⑫	
5/16 (土)							
5/17 (日)							
5/18 (月)	○						
5/19 (火)	○		上⑫				
5/20 (水)	○			上⑫			
5/21 (木)	○				上⑬		
5/22 (金)	○					上⑬	
5/23 (土)		カリキュラムテスト⑪⑫					
5/24 (日)							
5/25 (月)	○						
5/26 (火)	○		上⑬				
5/27 (水)	○			上⑬			
5/28 (木)	○				上⑭		
5/29 (金)	○					上⑭	
5/30 (土)							
5/31 (日)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
6/1 (月)	○						
6/2 (火)	○		上⑭				
6/3 (水)	○			上⑭			
6/4 (木)	○				上⑭		
6/5 (金)	○					上⑭	
6/6 (土)		カリキュラムテスト⑬⑭					
6/7 (日)		全国統一小学生テスト					
6/8 (月)		レベルアップ授業					
6/9 (火)							
6/10 (水)							
6/11 (木)							
6/12 (金)							
6/13 (土)		組分けテスト⑮					
6/14 (日)							
6/15 (月)	○						
6/16 (火)	○		上⑭				
6/17 (水)	○			上⑭			
6/18 (木)	○				上⑭		
6/19 (金)	○					上⑭	
6/20 (土)							
6/21 (日)							
6/22 (月)	○						
6/23 (火)	○		上⑭				
6/24 (水)	○			上⑭			
6/25 (木)	○				上⑭		
6/26 (金)	○					上⑭	
6/27 (土)		カリキュラムテスト⑯⑰					
6/28 (日)							
6/29 (月)	○						
6/30 (火)	○		上⑭				

●レベルアップ授業は組分けテストの対策補講です。
実施日は校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
7/1 (水)	○			上⑭			
7/2 (木)	○				上⑭		
7/3 (金)	○					上⑭	
7/4 (土)							
7/5 (日)							
7/6 (月)	○						
7/7 (火)	○		上⑭				
7/8 (水)	○			上⑭			
7/9 (木)	○				上⑭		
7/10 (金)	○					上⑭	
7/11 (土)		カリキュラムテスト⑱⑲					
7/12 (日)							
7/13 (月)	○						
7/14 (火)	○		上⑭				
7/15 (水)	○			上⑭			
7/16 (木)							
7/17 (金)							
7/18 (土)		組分けテスト⑲					
7/19 (日)							
7/20 (月)							
7/21 (火)	講	夏期講習会期間					
7/22 (水)	講						
7/23 (木)	講						
7/24 (金)	講						
7/25 (土)	講						
7/26 (日)	講						
7/27 (月)							
7/28 (火)	講						
7/29 (水)	講						
7/30 (木)	講						
7/31 (金)	講						

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

[後期]

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
8/1 (土)	講	夏期講習会期間					
8/2 (日)	講						
8/3 (月)							
8/4 (火)							
8/5 (水)							
8/6 (木)							
8/7 (金)							
8/8 (土)							
8/9 (日)							
8/10 (月)							
8/11 (火)							
8/12 (水)							
8/13 (木)							
8/14 (金)							
8/15 (土)							
8/16 (日)	講	夏期講習会期間					
8/17 (月)	講						
8/18 (火)	講						
8/19 (水)	講						
8/20 (木)	講						
8/21 (金)	講						
8/22 (土)	講						
8/23 (日)	講						
8/24 (月)	講						
8/25 (火)	講						
8/26 (水)	講						
8/27 (木)	講						
8/28 (金)	講						
8/29 (土)		組分けテスト					
8/30 (日)							
8/31 (月)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●夏期合宿については決まり次第お伝えします。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
9/1 (火)	○		下②				
9/2 (水)	○			下②			
9/3 (木)	○				下②		
9/4 (金)	○					下②	
9/5 (土)							
9/6 (日)							
9/7 (月)	○						
9/8 (火)	○		下③				
9/9 (水)	○			下③			
9/10 (木)	○				下③		
9/11 (金)	○					下③	
9/12 (土)		カリキュラムテスト①②					
9/13 (日)							
9/14 (月)	○						
9/15 (火)	○		下④				
9/16 (水)	○			下④			
9/17 (木)	○				下④		
9/18 (金)	○					下④	
9/19 (土)							
9/20 (日)							
9/21 (月)	○						
9/22 (火)							
9/23 (水)							
9/24 (木)	○				下⑤		
9/25 (金)	○					下⑤	
9/26 (土)		カリキュラムテスト③④					
9/27 (日)							
9/28 (月)	○						
9/29 (火)	○		下⑤				
9/30 (水)	○			下⑤			

●9月初授業:9/1(火)・9/2(水)
※校舎によって異なります。
●小4「予習シリーズ」下巻第1回の授業は、夏期講習会中に実施します。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
10/1 (木)	○				下⑥		
10/2 (金)	○					下⑥	
10/3 (土)							
10/4 (日)		組分けテスト⑤					
10/5 (月)	○						
10/6 (火)	○		下⑥				
10/7 (水)	○			下⑥			
10/8 (木)	○				下⑦		
10/9 (金)	○					下⑦	
10/10 (土)							
10/11 (日)							
10/12 (月)	○						
10/13 (火)	○		下⑦				
10/14 (水)	○			下⑦			
10/15 (木)	○				下⑧		
10/16 (金)	○					下⑧	
10/17 (土)		カリキュラムテスト⑥⑦					
10/18 (日)							
10/19 (月)	○						
10/20 (火)	○		下⑧				
10/21 (水)	○			下⑧			
10/22 (木)	○				下⑨		
10/23 (金)	○					下⑨	
10/24 (土)							
10/25 (日)							
10/26 (月)	○						
10/27 (火)	○		下⑨				
10/28 (水)	○			下⑨			
10/29 (木)	○				下⑪		
10/30 (金)	○					下⑪	
10/31 (土)		カリキュラムテスト⑧⑨					

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
11/1 (日)							
11/2 (月)							
11/3 (火)		全国統一小学生テスト					
11/4 (水)	○			下⑪			
11/5 (木)							
11/6 (金)							
11/7 (土)		レベルアップ授業					
11/8 (日)		組分けテスト⑩					
11/9 (月)	○						
11/10 (火)	○		下⑪				
11/11 (水)	○			下⑫			
11/12 (木)	○				下⑫		
11/13 (金)	○					下⑫	
11/14 (土)							
11/15 (日)							
11/16 (月)	○						
11/17 (火)	○		下⑫				
11/18 (水)	○			下⑬			
11/19 (木)	○				下⑬		
11/20 (金)	○					下⑬	
11/21 (土)		カリキュラムテスト⑪⑫					
11/22 (日)							
11/23 (月)	○						
11/24 (火)	○		下⑬				
11/25 (水)	○			下⑭			
11/26 (木)	○				下⑭		
11/27 (金)	○					下⑭	
11/28 (土)							
11/29 (日)							
11/30 (月)	○						

●レベルアップ授業は組分けテストの対策補講です。
実施日は校舎によって異なります。

2026	授業 実施	月	火	水	木	金	土
12/1 (火)	○		下⑭				
12/2 (水)	○			下⑮			
12/3 (木)	○				下⑮		
12/4 (金)	○					下⑮	
12/5 (土)		カリキュラムテスト⑬⑭					
12/6 (日)							
12/7 (月)	○						
12/8 (火)	○		下⑮				
12/9 (水)	○			下⑯			
12/10 (木)	○				下⑯		
12/11 (金)	○					下⑯	
12/12 (土)		組分けテスト⑮					
12/13 (日)							
12/14 (月)	○						
12/15 (火)	○		下⑯				
12/16 (水)	○			下⑰			
12/17 (木)	○				下⑰		
12/18 (金)	○					下⑰	
12/19 (土)							
12/20 (日)							
12/21 (月)	○						
12/22 (火)	○		下⑰				
12/23 (水)							
12/24 (木)							
12/25 (金)							
12/26 (土)	講	冬期講習会期間					
12/27 (日)	講						
12/28 (月)	講						
12/29 (火)	講						
12/30 (水)							
12/31 (木)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。

2027	授業 実施	月	火	水	木	金	土
1/1 (金)							
1/2 (土)							
1/3 (日)							
1/4 (月)	講	冬期講習会期間					
1/5 (火)	講						
1/6 (水)	講						
1/7 (木)	講						
1/8 (金)							
1/9 (土)							
1/10 (日)							
1/11 (月)	○	志望校判定テスト					
1/12 (火)	○		下⑮				
1/13 (水)	○			下⑮			
1/14 (木)	○				下⑮		
1/15 (金)	○					下⑮	
1/16 (土)		カリキュラムテスト⑯⑰⑱					
1/17 (日)							
1/18 (月)	○						
1/19 (火)	○		下⑯				
1/20 (水)	○			下⑯			
1/21 (木)	○				下⑯		
1/22 (金)	○					下⑯	
1/23 (土)		組分けテスト⑲					
1/24 (日)							
1/25 (月)	○						
1/26 (火)	○		小5上①				
1/27 (水)	○			小5上①			
1/28 (木)	○				小5上①		
1/29 (金)	○					小5上①	
1/30 (土)							
1/31 (日)							

●講習会期間は予定です。実施日は学年・校舎により異なります。
●1月初授業:1/12(火)・1/13(水) 小4最終授業:1/28(木)・1/29(金)
※校舎によって異なります。
●1/26(火)以降は小5「予習シリーズ」上巻第1回を扱います。

